**令和５年度**

**血液事業の現状**

令和５年度献血啓発作品ポスター原画募集

最優秀賞　受賞作品

**大阪府 健康医療部 保健医療室 医療対策課**

は じ め に

大阪府の血液事業は、昭和39年の事業開始以来、府民の皆様のあたたかい善意と市町村献血推進協議会をはじめとする献血推進団体のご努力とご支援により、進展してまいりました。

令和５年度は、388,671人の方々から173,605Ｌのご提供をいただき、年間を通じて医療機関へ安定的に血液製剤を供給することができました。

このことは府民の皆様と関係者の皆様のご協力の賜物であると深く感謝申し上げます。

一方で、将来の献血を支える20代、30代の若年層の献血者数の割合は依然として減少傾向にあり、将来に亘り安定的に血液を確保するためには、若年層の方々に対する献血推進活動がより一層重要となっております。

このような状況を踏まえ、大阪府では、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」で定められている基本理念に基づき、医療機関へ輸血用血液を安定的に供給することを目的とした「大阪府献血推進計画」を毎年度策定し、市町村、大阪府赤十字血液センター等と連携の下、様々な事業の実施により献血の推進を図っております。

本資料は、令和５年度の事業取り組み状況やご協力いただいた献血者数の実績等、大阪府における血液事業の現状をとりまとめたものです。皆様の参考になれば幸いに存じます。

今後も、年間を通した献血者の安定確保、血液製剤の安全性の向上に取り組んでまいりたいと存じます。関係者の皆様には、引き続き血液事業の重要性をさらにご理解いただき、より一層のご支援とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

令和６年12月

大阪府健康医療部保健医療室医療対策課長

奥野　憲一

目　　次

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １ | [大阪府における血液事業](#大阪府における血液事業) | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | ４ |
| ２ | [大阪府赤十字血液センター等による献血受入体制及び血液製剤製造・供給体制](#大阪府赤十字血液センター等による献血受入体制及び血液製剤製造・供給体制) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・ | ８ |
| ３ | [献血状況](#献血状況) | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| （１） | [献血者数](#献血者数) | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| （２） | [年度別献血状況](#年度別献血状況) | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | 10 |
| （３） | [月別献血状況](#月別献血状況) | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | 11 |
| （４） | [受入施設別献血状況](#受入施設別献血状況) | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | 11 |
| （５） | [年齢別・男女別献血状況](#年齢別・男女別献血状況) | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | 12 |
| （６） | [職業別献血状況・新規献血者数](#職業別献血状況・新規献血者数) | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | 13 |
| （７） | [採血前問診及び採血後検査の状況](#採血前問診及び採血後検査の状況) | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | 13 |
| ４ | [血液製剤の供給状況](#血液製剤の供給状況) | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | 15 |
| ５ | [会議の開催](#会議の開催) | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 |
| ６ | [献血推進功労者の顕彰](#献血推進功労者の顕彰) | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | 17 |
| ７ | [広報活動](#広報活動) | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 18 |
| （１） | [大阪府ホームページ等による広報活動の実施](#広報活動) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・ | | | 18 |
| （２） | [献血作品募集事業の実施](#広報活動) | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | 18 |
| （３） | [高校生による献血キャンペーンの実施](#広報活動) | | | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | 18 |
| （４） | [各市町村街頭広報等実施状況](#各市町村街頭広報等実施状況) | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | 19 |
| ８ | [血液事業のあゆみ](#血液事業のあゆみ) | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | 21 |
| ９ | [大阪府献血推進計画](#大阪府献血推進計画) | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | 22 |
| --------------------------------------------------------------------------------- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 参考資料 | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 33 |
| １ | | [献血状況〔献血者数〕](#参考資料令和５年度献血状況〔献血者数〕) | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | 33 |
| ２ | | [市町村別献血者数](#参考資料市町村別献血者数) | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | 34 |
| ３ | | [都道府県別献血者状況](#参考資料令和５年度都道府県別献血者状況) | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | 35 |
| ４ | | [献血受入固定施設](#参考資料献血受入固定施設) | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | 36 |
| ５ | | [市町村献血推進協議会事務局連絡先一覧](#参考資料市町村献血推進協議会事務局連絡先一覧) | | | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・ | | | | 37 |
| ６ | | [大阪府献血推進審議会規則](#参考資料大阪府献血推進審議会規則) | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | 38 |
| ７ | | [大阪府献血推進審議会　委員名簿](#参考資料大阪府献血推進審議会委員名簿) | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | 10 |
| ８ | | [採血基準](#参考資料採血基準) | | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 41 |
| ９ | | [献血の種類と主要血液製剤一覧表](#参考資料献血の種類と主要血液製剤一覧表) | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | 42 |
| 10 | | [血液型、生化学検査及び血球計数検査成績の通知について](#参考資料血液型､生化学検査及び血球計数検査成績の通知について) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | ・・・・・・ | | 43 |

**1　大阪府における血液事業**

「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（昭和31年法律第160号。以下「血液法」という。）では、すべての血液製剤を献血により確保し、安定的に供給することを基本理念とし、国、地方公共団体、採血事業者及び医療機関などが必要な措置を講ずることによって、この基本理念にのっとった責務を果たすことが規定されている。

大阪府においても、血液法の理念にのっとり、府内の医療機関で必要な血液製剤を府内の献血によって安定的に確保するため大阪府赤十字血液センター、市町村及び市町村に設置されている市町村献血推進協議会と連携し献血の推進を図っている。

また、血液製剤の安全性を確保するため、大阪府赤十字血液センター等において様々な対策が実施されていることを踏まえ、400mL献血、成分献血の推進や献血時の問診強化、エイズ検査目的の献血排除等の啓発活動を実施している。

さらに、輸血用血液製剤を必要とする高齢者の人口が増加する一方、少子化により献血可能人口が減少することを考慮し、新規献血者の確保、若年層献血の推進に努めている。

**（１）大阪府献血推進計画の策定**

血液法第10条第５項の規定に基づき、「大阪府献血推進計画」（[P22](#大阪府献血推進計画)）を大阪府献血推進審議会で審議し、策定している。（[大阪府献血推進審議会／大阪府ホームページ](https://www.pref.osaka.lg.jp/o100030/yakumu/singikai/kenketsusuisin.html) ）

**（２）献血推進機構**

厚生労働省

日本赤十字社

大阪府献血推進

審議会

進審議会

**大阪府及び**

**保健所**

大市町村

市町村献血推進協議会

進審議会

日赤大阪府支部

連携

連携

市町村献血推進協議会

市町村

大阪府赤十字

血液センター

**大阪府及び**

**保健所**

献血者

地域組織

ター

呼びかけ

相談

相談

相談

献血者

地域組織

呼びかけと採血

呼びかけ

**（３）血液確保対策**

**①献血意識の普及啓発**

ポスターなどの広報物品や献血ホームページによる啓発、献血啓発作品ポスター原画募集事業等による献血の正しい知識・必要性の普及啓発。

**②献血推進月間等**

「愛の血液助け合い運動月間」（全国一斉・７月）、「大阪府献血推進月間」（府独自・12月）及び「はたちの献血キャンペーン」（全国一斉・１～２月）において市町村献血推進協議会等との連携による街頭広報などの実施。

**③若年者献血の推進**

少子化等により献血可能人口が減少傾向にある中、将来にわたり安定的に血液を確保するため、学生献血推進協議会等と連携し若年層に対する普及・啓発を実施。

**④市町村献血推進協議会への助成**

地域献血の組織育成のための市町村献血推進協議会の事業費に対する助成。

**（４）安全性確保対策の変遷**

**①「400mL献血」「成分献血」の推進**

輸血によるウイルス感染の危険性を軽減。

**②問診の強化、エイズ等検査目的の献血排除**

輸血によるウイルス感染などの防止および献血者の健康を守るために実施（問診における献血

者のプライバシー配慮）。直近では、平成23年４月に問診票を改訂。

**③医療機関における血液製剤に関する記録の保管・管理の指導**

血液製剤の遡及調査体制の整備。

**④新鮮凍結血漿（ＦＦＰ）の容量変更**

平成19年８月より新鮮凍結血漿（ＦＦＰ）の容量が200mL献血由来で80mLから120mL、400mL献血由来で160mLから240mLに変更。輸血される血液の献血者数を少なくすることで安全性を向上。

**⑤核酸増幅検査（ＮＡＴ）の精度向上**

平成26年８月より献血者１人分の血液ごとに調べる「個別NAT」を導入し、検査精度を向上。

**⑥献血受付時の本人確認の実施**

平成26年５月に生体認証による本人確認を導入、平成30年4月からは初めて献血される方と前回の献血時に本人確認のための証明書を提示いただけなかった方を対象に、身分証の確認を導入し、献血受付時の本人確認を厳格化。

**⑦保存前白血球除去の導入**

白血球に由来する発熱反応等の副作用やその他の有害事象を低減するために、すべての血液製剤において保存前白血球の除去を実施。

**⑧採血時の初流血除去の実施**

献血の針を刺した直後に流出する血液（初流血）を除去し、消毒薬で除去できない皮膚の内面にある毛嚢（もうのう）中の細菌が針刺し直後に混入することを防ぐために、成分献血、全血献血の全ての献血において初流血の除去を実施。

**（５）血液製剤の使用適正化事業の推進**

「血液製剤は善意による献血をはじめとする人体の一部である血液から作られる製剤であり、この使用は臓器移植とも言うべきものであることから、その供給に当たっては限度があり、特に適正な使用が望まれるものである」という趣旨のもと、血液センターと連携し、医療機関を対象とする講習会を開催するなどにより、下表の指針などの普及を図っている。

あわせて、医師会・病院協会等の医療関係団体に参加を求め、情報交換を行うとともに、血液製剤供給量の多い医療機関に対し「輸血療法委員会」の設置及び活性化を推進している。

|  |  |
| --- | --- |
| ○血液製剤保管管理マニュアル | 平成５年９月16日厚生省薬務局 |
| ○自己血輸血：採血及び保管管理マニュアル | 平成６年12月２日厚生省薬務局 |
| ○血液製剤に関する記録の保管・管理 | 平成９年６月３日厚生省薬務局 |
| ○安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律等の施行に当たっての留意事項について | 平成15年７月24日  厚生労働省医薬食品局長通知 |
| ○血液製剤の平均的使用量について | 平成16年12月27日  厚生労働省医薬食品局長通知 |
| ○新鮮凍結血漿の適正使用の推進について | 平成21年７月９日  厚生労働省医薬食品局血液対策課長通知 |
| ○「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の  一部改正について | 平成26年７月30日  厚生労働省医薬食品局長通知 |
| ○「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」の一部改正について | 平成26年11月12日  厚生労働省医薬食品局長通知 |
| ○「血液製剤の使用指針」の一部改正について | 平成28年６月14日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤の使用指針」の改定について | 平成29年３月31日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の  一部改正について | 平成30年３月22日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤の使用指針」の一部改定について | 平成30年３月30日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤の使用指針」の一部改正について | 平成30年９月26日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤の使用指針」の一部改正について | 平成31年３月25日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の  一部改正について | 令和２年３月31日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「輸血療法の実施に関する指針」の一部改正について | 令和２年３月31日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の  一部改正について | 令和３年９月15日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| ○「血液製剤等に係る遡及調査ガイドライン」の  一部改正について | 令和４年５月17日  厚生労働省医薬・生活衛生局長通知 |
| 〇血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針の一部を改正する件について | 令和６年３月29日  厚生労働省医薬局長通知 |

**（６）採血基準の改正について**

令和２年９月１日、血液法の一部改正に伴い、血液法第25条第２項に規定される「採血が健康上有害であると認められる者」の基準（体温・血圧・脈拍）が新たに規定された。

（[献血基準／日本赤十字社ウェブサイト](https://www.jrc.or.jp/donation/about/terms/)）

**２　大阪府赤十字血液センター等による献血受入体制及び血液製剤製造・供給体制**

　　大阪府赤十字血液センター等で受入れた血液は、その関連施設において各種検査、製剤化を経て医療機関等に適切に供給される。

**（１）献血受入体制**

**①血液センター**

大阪府赤十字血液センター（森之宮センター）〈大阪市城東区〉、大阪府赤十字血液センター北大阪事業所〈茨木市〉、大阪府赤十字血液センター南大阪事業所〈岸和田市〉がある。

**②献血ル－ム**

主に成分献血推進施設として令和６年３月末時点で10か所ある（[P36](#参考資料献血受入固定施設)）

（[献血ルーム紹介／日本赤十字社 大阪府赤十字血液センターウェブサイト](https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/place/m1_01_00_index.html)）

**③移動献血車**

１台で１日約70人の採血能力のある献血車を、現在12台保有しており、１日平均7.4台が稼働している。職域・地域組織からの依頼により配車しているほか、街頭献血として主要鉄道駅付近に定期的に配車している。

**④出張採血（オープン採血）**

献血者が多く、移動献血車では受けきれない場合及び移動献血車の駐車スペースがない場合などに衛生的な部屋を臨時の採血室として採血装置を持ち込み行う。

**（２）血液製剤の製造及び供給体制**

**①献血血液の検査**

献血された血液は、輸血の安全性などを確保するため、各種検査を行い、不適なものは製剤用から除かれる。

|  |
| --- |
| ＜各種検査項目＞  ●血液型検査  ＡＢＯ血液型検査、Ｒｈ血液型検査、不規則抗体検査、ＨＬＡ検査（一部）  ●抗原・抗体検査  梅毒血清学的検査、Ｂ型肝炎ウイルス検査、Ｃ型肝炎ウイルス検査、ヒト免疫不全ウイルス（HIV）検査、ＨＴＬＶ－１抗体検査、ヒトパルボウイルスＢ19検査  ●生化学検査  ●血球計数検査  ●核酸増幅検査（ＮＡＴ）  Ｂ型肝炎ウイルス検査、Ｃ型肝炎ウイルス検査、E型肝炎ウイルス検査、ＨＩＶ検査 |

なお、献血者のうち希望された方には、７項目の生化学検査成績及び８項目の血球計数検査成績を「検査サービス」として通知している。（[P43](#参考資料血液型､生化学検査及び血球計数検査成績の通知について)）

（[協力者の方への検査サービス／日本赤十字社 大阪府赤十字血液センターウェブサイト](https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/donation/m2_02_02_inspect.html)）

**②血液製剤の製造**

全血製剤並びに血液成分製剤（赤血球製剤、血小板製剤、血漿製剤）については、近畿ブロック血液センターにおいて製剤化される。

血漿分画製剤製造用原料血漿は、一般社団法人日本血液製剤機構や民間製薬会社で製剤化され、その種類には、血液凝固因子製剤、アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤等がある。

**③血液製剤の供給**

輸血用血液製剤は、府内の医療機関からの要請に基づき３か所の血液センターから直接供給されるが、供給エリアは、中央部を森之宮センター、北部地域を北大阪事業所、南部地域を南大阪事業所が担当しており、各血液センター間及び他府県の血液センター間の調整は近畿ブロック血液センターが担当している。

府内には、37台の献血運搬車があり、緊急要請には、森之宮センター、北大阪事業所、南大阪事業所が連携をとり、24時間体制で要請に応じている。

また、血漿分画製剤は一般社団法人日本血液製剤機構や民間製薬会社から卸売販売業者を通じて供給されている。

**④血液の使われ方**

献血血液は、医療の需要に応じた各種類の輸血用血液製剤と血漿分画製剤となり、さまざまな病気の治療に使われている。（[P42](#参考資料献血の種類と主要血液製剤一覧表)）

**３　献血状況**

**（１）****献血者数**

献血者数は、388,671人（実人数198,075人 ： １人平均2.0回）で、目標比100.3%、前年度比100.5%であった。成分献血は、130,014人で前年度比102.8%、400mL献血は250,321人で前年度比99.4%であった。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| *献血者数の内訳*   |  |  |  |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | | 総　　　数 | | 献血者数 | 構成比 | 目標数 | 構成比 | 達成率 | 前年度比 | | 388,671 | 100.0% | 387,424 | 100.0% | 100.3% | 100.5% | |  | 成分献血 | 130,014 | 33.5% | 127,181 | 32.8% | 102.2% | 102.8% | |  | 400mL献血 | 250,321 | 64.4% | 249,651 | 64.4% | 100.3% | 99.4% | |  | 200mL献血 | 8,336 | 2.1% | 10,592 | 2.7% | 78.7% | 96.7% | | |
| *献血者数と献血種類構成比* | *献血実人数と献血回数* |

**（２）****年度別献血状況**

400mL献血者数の構成比は64.4%、前年度比で0.7ポイント減少した。全体の献血量は、173,605Ｌであった。

*献血者数・献血量年度推移*

-

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 年　度 | 昭和39年度※１ | 昭和61年度※２ | 平成３年度※３ | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
| 献血者数 | 成分献血（人） | - | 3,597 | 84,588 | 125,502 | 138,330 | 133,273 | 126,483 | 130,014 |
| 400mL献血（人） | - | 44,547 | 133,990 | 252,681 | 248,137 | 254,382 | 251,766 | 250,321 |
| 200mL献血（人） | 12,806 | 477,484 | 342,002 | 12,575 | 10,380 | 9,363 | 8,622 | 8,336 |
| 合計（人） | 12,806 | 525,628 | 560,580 | 390,758 | 396,847 | 397,018 | 386,871 | 388,671 |
| 目標数（人） | - | - | - | 388,693 | 395,888 | 393,967 | 390,409 | 387,424 |
| 達成率（%） | - | - | - | 100.5% | 100.2% | 100.8% | 99.1% | 100.3% |
| 献血量 | 献血量（L） | - | 114,772 | 154,500 | 168,013 | 174,860 | 175,055 | 171,644 | 173,605 |
| 目標量（L） | - | - | - | 169,242 | 173,962 | 173,950 | 174,499 | 172,617 |
| 達成率（%） | - | - | - | 99.3% | 100.5% | 100.6% | 98.4% | 100.6% |

※１　献血制度開始　※２　400mL献血・成分献血開始　※３　過去最高献血者数

**（３）****月別献血状況**

月別に見ると、４月、11月、２月における献血者数が少ない。１月に献血者数が増加したのは、令和６年

１月に発生した能登半島地震の影響であると思われる。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 |
| 令和３年度 | 31,508 | 32,819 | 34,955 | 31,887 | 33,121 | 34,160 | 34,178 | 33,603 | 34,223 | 31,853 | 30,895 | 33,816 |
| 令和４年度 | 31,368 | 33,063 | 32,695 | 32,524 | 31,938 | 30,995 | 33,833 | 32,531 | 32,537 | 31,547 | 31,017 | 32,823 |
| 令和５年度 | 31,451 | 32,259 | 32,405 | 31,902 | 31,893 | 32,039 | 33,313 | 31,891 | 33,136 | 33,129 | 31,741 | 33,512 |

**（４****）受入施設別献血状況**

受入施設別に見ると、全体では移動採血車による献血が27.1%、献血ルームでは65.4%である。

成分献血は、91.5%を献血ルームで受けており、血液センターと合わせ固定施設で100%を占めている。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令和元年度 | | 令和２年度 | | 令和３年度 | | 令和４年度 | | 令和５年度 | |
| 血液センター | 17,548 | 4.5% | 24,756 | 6.2% | 23,201 | 5.8% | 22,503 | 5.8% | 20,821 | 5.4% |
| 献血ルーム | 242,396 | 62.0% | 249,512 | 62.9% | 253,649 | 63.9% | 249,146 | 64.4% | 254,119 | 65.4% |
| 移動採血車 | 120,259 | 30.8% | 113,479 | 28.6% | 111,876 | 28.2% | 105,892 | 27.4% | 105,318 | 27.1% |
| オープン | 10,555 | 2.7% | 9,100 | 2.3% | 8,292 | 2.1% | 9,330 | 2.4% | 8,413 | 2.2% |

**（５）****年齢別・男女別献血状況**

年齢別に見ると、50歳代が一番多く、40～59歳で全体の過半数を占めている。また、性別に見ると、全体の約３分の２が男性となっている。

*年齢別献血者数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　男女別献血者数*



**（６****）職業別献血状況・新規献血者数**

職業別に見ると、会社員が全体の61.8％と最も多く、学生（高校生を含む）は7.3％と全体の１割以下であった。また、新規献血者数は、平成22年度に全体の１割を下回り、その状態が続いている。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 令和元年度 | | 令和２年度 | | 令和３年度 | | 令和４年度 | | 令和５年度 | |
| 公務員 | 31,880 | 8.2% | 33,247 | 8.4% | 32,525 | 8.2% | 32,925 | 8.5% | 33,435 | 8.6% |
| 会社員 | 233,657 | 59.8% | 239,235 | 60.3% | 239,872 | 60.4% | 235,493 | 60.9% | 240,164 | 61.8% |
| 高校生 | 6,902 | 1.8% | 6,180 | 1.6% | 6,029 | 1.5% | 5,401 | 1.4% | 4,879 | 1.3% |
| 学内献血者数 | 1,845 |  | 782 |  | 904 |  | 1,185 |  | 1,279 |  |
| （学校数） | 31 |  | 10 |  | 16 |  | 22 |  | 29 |  |
| その他学生 | 28,590 | 7.3% | 23,655 | 6.0% | 25,808 | 6.5% | 25,230 | 6.5% | 23,503 | 6.0% |
| その他 | 58,333 | 14.9% | 63,141 | 15.9% | 60,360 | 15.2% | 56,976 | 14.7% | 56,928 | 14.6% |
| 主婦 | 31,196 | 8.0% | 31,389 | 7.9% | 32,424 | 8.2% | 30,846 | 8.0% | 29,762 | 7.7% |

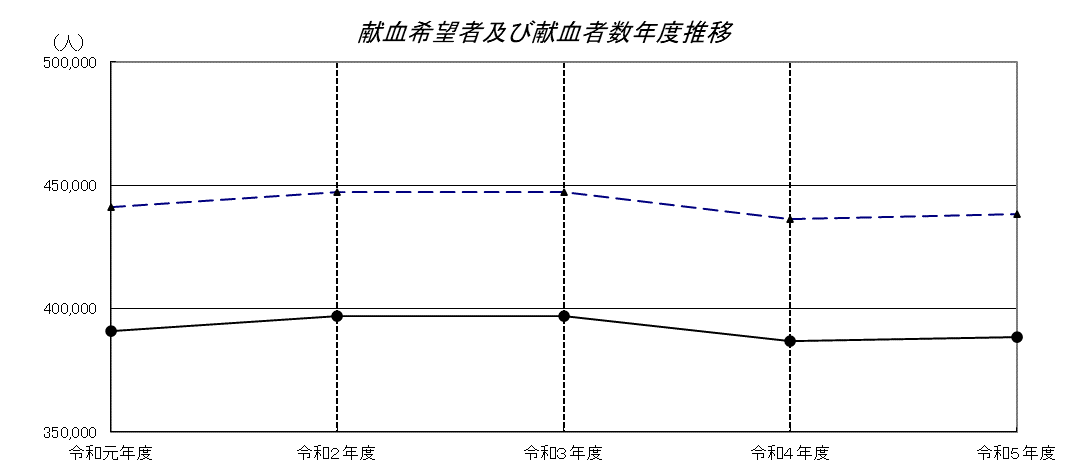
|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
| 新規献血者数（人） | | 28,264 | 23,814 | 23,680 | 22,359 | 21,316 |
|  | 構成比（％） | 7.2% | 6.0% | 6.0% | 5.8% | 5.5% |
| 再来献血者数（人） | | 362,494 | 373,033 | 373,338 | 364,512 | 367,355 |
|  | 構成比（％） | 92.8% | 94.0% | 94.0% | 94.2% | 94.5% |
| 献血者数（人） | | 390,758 | 396,847 | 397,018 | 386,871 | 388,671 |

**（７）****採血前問診及び採血後検査の状況**

**①採血前問診の状況**

献血者の健康保持を図るため、血液法に基づき、献血申込者に対し、採血前の問診（健康診断）を実施している。献血申込者のうち献血できなかった人の約６割は女性であり、主な理由は、血色素量である。

献血者



献血希望者



*男女別採血できなかった理由*

その他：ピアス、３日以内の歯科治療、４週間以内の海外からの帰国等

**②採血後検査の状況**

採血した血液は、各種検査を実施し、不適なものは製剤用から除かれる。令和５年度における検査結果の状況は次のとおりである。

|  |  |
| --- | --- |
| 検査項目 | 検査不合格数 |
| 肝機能 | 2,940 |
| HBc抗体 | 486 |
| 不規則抗体 | 242 |
| HCV抗体 | 139 |
| 梅毒 | 383 |
| HBs抗原 | 102 |
| その他 | 1,225 |

*年度別検査結果*

*検査項目別不合格数*

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 献血者数 | 検査不合格数 | 比率 |
| R1 | 390,758 | 8,366 | 2.1% |
| R２ | 396,847 | 8,009 | 2.0% |
| R３ | 397,018 | 7,075 | 1.8% |
| R４ | 386,871 | 5,515 | 1.4% |
| R5 | 388,671 | 5,415 | 1.4% |

※２つ以上の項目に該当したものは、それぞれに計上

**４****血液製剤の供給状況**

供給については、府内650の医療機関より血液供給の要請があった。

*血液製剤供給状況の内訳*

〔注〕「供給」は大阪府内の医療機関への供給を示す。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種類 | 供給状況 | |
| 本数 | 単位数 |
| 全血製剤 | 0 | 0 |
| 赤血球製剤 | 284,013 | 558,520 |
| 血漿製剤 | 91,774 | 203,860 |
| 血小板製剤 | 63,950 | 730,750 |
| 合計 | 439,737 | 1,493,130 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | ８月 | ９月 | 10月 | 11月 | 12月 | １月 | ２月 | ３月 | 総計 |
| 全血製剤 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 赤血球製剤 | 44,125 | 46,241 | 45,831 | 46,146 | 47,285 | 45,488 | 47,962 | 46,225 | 50,080 | 47,914 | 45,358 | 45,865 | 558,520 |
| 血小板製剤 | 55,770 | 61,205 | 59,505 | 59,235 | 63,135 | 60,300 | 61,425 | 60,390 | 64,350 | 63,450 | 61,145 | 60,840 | 730,750 |
| 血漿製剤 | 16,512 | 16,532 | 16,484 | 18,826 | 15,820 | 17,079 | 18,157 | 16,656 | 16,506 | 17,785 | 16,547 | 16,956 | 203,860 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和２年度 | 令和３年度 | 令和４年度 | 令和５年度 |
| 供給数（単位） | 1,472,664 | 1,502,479 | 1,473,026 | 1,480,551 | 1,477,025 | 1,493,130 |

**５****会議の開催**

**（１）大阪府献血推進審議会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 月 日 | 場　　所 | 主 な 議 題 |
| 令和６年２月８日 | ＫＫＲホテル大阪 | １. 血液事業の現状について  ２. 令和６年度大阪府献血推進計画（案）について |

**（２）市町村献血推進担当者会議**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 月 日 | 場　　所 | 主 な 議 題 |
| 令和５年６月20日 | 大阪府赤十字  血液センター | 1. 大阪府における血液事業の取組みについて 2. 令和４年度の献血実績と啓発の取組みについて 3. 他の自治体などにおける献血事業について 4. 献血の促進への取組みについて 5. その他 |

**６****献血推進功労者の顕彰**

**厚生労働大臣表彰状・感謝状受賞者**

**表彰状受賞者：４ 【伝達式：令和５年８月４日、場所：KKRホテル大阪】**

|  |  |
| --- | --- |
| 旭精工株式会社（堺市西区） | シオノギファーマ株式会社　本社・摂津工場（摂津市） |
| 奥村組土木興業株式会社（大阪市港区） | シャープ株式会社Smart Appliances & Solutions  事業本部（八尾市） |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  | | --- | --- | | **感謝状受賞者：１３** | | | 大阪西ライオンズクラブ（大阪市北区） | 公益社団法人 日本ラクロス協会 関西地区（東京都中央区） | | 大阪府布施警察署（東大阪市） | 塩野義製薬株式会社　医薬研究センター（豊中市） | | 交野市消防本部（交野市） | 大商学園高等学校（豊中市） | | 株式会社ＩＨＩインフラシステム（堺市堺区） | 羽衣学園高等学校（高石市） | | 株式会社かんでんエンジニアリング福崎事業所（大阪市港区） | 三菱電機株式会社　関西支社（大阪市北区） | | 株式会社ジェイテクト国分工場（柏原市） | 八木地区若頭連絡協議会（岸和田市） | | 株式会社セレッソ大阪（大阪市東住吉区） |  |   　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　<敬称略> |

**大阪府知事感謝状受賞者**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | **個人受賞者：１１** | | **【伝達式：令和５年８月４日、場所：KKRホテル大阪】** | | | 織田　幸司（箕面市） | 杉浦　有子（箕面市） | 南道　勝己（箕面市） | 松岡　利美（箕面市） | | 木矢　里織（富田林市） | 飛松　明美（高槻市） | 野口　登美子（箕面市） | 幸　浩司（吹田市） | | 城　きよみ（高槻市） | 中野　直子（富田林市） | 東野　正嗣（大阪市西成区） | |
| **団体受賞者：３３**   |  |  | | --- | --- | | 麻生郷若頭連合会（貝塚市） | 久世校区献血推進委員会（堺市中区） | | いこらも～る泉佐野（泉佐野市） | コーナンPRO豊中庄本店（豊中市） | | 和泉だんじり大連合青年部（和泉市） | コープこうべ東豊中店（豊中市） | | 出雲大社大阪分祠（堺市東区） | 国際ロータリー第２６６０地区ローターアクト（大阪市中央区） | | 一般社団法人　大阪青年会議所（大阪市港区） | 堺市上下水道局下水道施設部三宝水再生センター  （堺市堺区） | | 宇谷校区福祉委員会（寝屋川市） | シップヘルスケアホールディングス株式会社（吹田市） | | 大阪北酒販青年会（大阪市北区） | 全星薬品工業株式会社（岸和田市） | | 大阪府　枚方警察署（枚方市） | 第一生命保険株式会社　茨木支社（茨木市） | | 学校法人古武学園　高津理容美容専門学校（大阪市中央区） | 内外電機株式会社 京阪奈工場（四條畷市） | | 株式会社オークワ河内長野店（河内長野市） | ニトリモール枚方（枚方市） | | 株式会社共立ヒートテクノ（八尾市） | 日本コムシス労働組合関西総支部（大阪市住之江区） | | 株式会社ダスキン（吹田市） | パナソニック オペレーショナルエクセレンス株式会社  （大阪市中央区） | | 株式会社塚谷刃物製作所（八尾市） | ピアスタワー（大阪市北区） | | 株式会社平和堂　フレンドマート交野店（交野市） | 日立造船労働組合関西地区（大阪市住之江区） | | 神石校区献血推進委員会（堺市堺区） | マルハン岸和田店（岸和田市） | | 関西電力労働組合大阪北エリア支部（大阪市北区） | リーガロイヤルホテル（大阪市北区） | | 北河内異業種交流会（枚方市） |  | |  | <敬称略> | |

**７****広報活動**

献血の推進を図るため、大阪府ホームページに血液の確保に向けた取り組みを記載し、関係団体の協力を求め、献血意識の普及等の広報活動を行った。

**（１）大阪府ホームページ等による広報活動の実施**

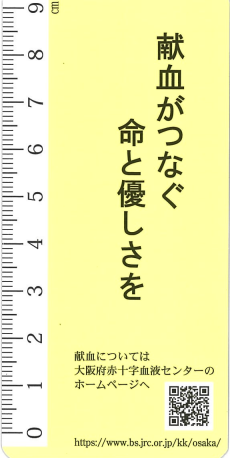
大阪府ホームページ及びSNS等を通じて、献血場所、各献血ルーム、献血バス運行スケジュール、献血基準等の情報を発信した。

**（２）献血作品募集事業の実施**

献血作品募集事業として、令和５年７月１日～令和５年９月30日まで、府内の15歳から28歳まで（令和５年４月１日現在）の方を対象に「献血啓発作品　ポスター原画募集」を実施した。

＜受賞作品等＞

　　　全応募作品165作品から選考委員会による選考の結果、次のとおり受賞作品を決定した。なお、受賞作品については、カレンダー・しおりを作成し、各高等学校等へ配布したほか、大阪府庁本館での展示や、南海なんば駅やJR大阪駅構内等に掲出を行い、若年層へ啓発を行った。



**（３）高校生による献血キャンペーンの実施**

若年層に献血の大切さを知ってもらうために、高校生による街頭キャンペーンを実施した。

＜日　時＞ 令和５年12月22日　午後３時頃から午後４時30分まで

＜場　所＞ 阪急グランドビル25献血ルーム周辺、西梅田献血ルーム周辺

あべの献血ルームＫｉＺｏｏＮａ周辺

＜参加者＞ 府立北摂つばさ高等学校　生徒　４名、教員１名

府立港南造形高等学校　 生徒　７名、教員２名

＜内　容＞　　街頭献血キャンペーン

（献血ルーム周辺で献血協力の呼びかけとティッシュ配布）

**（４）****各市町村街頭広報等実施状況**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 市町村名 |  | 愛の血液助け合い運動月間(７月) |  | 大阪府献血推進月間(12月) |
| 実施日 | 実施場所 | 実施日 | 実施場所 |
| 大阪市 | 7/7,21,28  7/14～7/28  7/26 | 阿倍野区役所  平野区役所3階窓口  東住吉区保健福祉センター | 11/28～12/25  12/1～7  12/7,14,21  12/8  12/21 | 平野区役所　3階窓口  中央区保健福祉センター1階  阿倍野区役所  JR塚本駅  生野区役所庁舎前  西区役所１階待合フロア |
| 堺市 | 7/6  7/19  7/20  7/24  7/28 | イオンモール堺北花田南側玄関付近  北野田駅前  栂・美木多駅前  西区役所周辺  ビバモール美原南インター店  美原区役所 | 12/13  12/14 | 中区役所及び深井駅周辺  堺東駅周辺 |
| 岸和田市 | 7/19 | 南海岸和田駅前 | 12/13 | 南海本線岸和田駅前 |
| 豊中市 | 7/22 | 阪急曽根駅前 | 12/21 | 豊中市役所 |
| 池田市 | 6/28  7/1  8/14 | 池田市保健福祉総合センター  池田市立北豊島小学校  池田市役所 | 11/11  11/17  12/2  12/29 | 池田駅前てるてる広場  池田市役所  ダイエー池田駅前  池田駅前てるてる広場 |
| 吹田市 | 7/1  7/1 | 各地区掲示板（３３地区）  吹田市役所庁内掲示板 | 11/5  12/3 | 健都イノベーションパーク  ニプロ（株）社屋内１階（健都フェス）  夢つながり未来館 |
| 泉大津市 | 7/3 | 泉大津駅周辺 | 12/4 | 泉大津駅周辺 |
| 高槻市 | 7/4 | エミル高槻 | 12/4 | エミル高槻 |
| 貝塚市 | 実施なし | | 実施なし | |
| 守口市 | 7/6 | 守口市役所及び周辺 | 12/5 | 守口市役所及び周辺 |
| 枚方市 | 7/11 | 京阪枚方市駅献血ルーム前 | 12/5 | 京阪枚方市駅　献血ルーム前 |
| 茨木市 | 7/3から7/31  7/27 | 茨木市役所本館2階医療政策課事務室前  茨木市役所南館1階　東玄関ロビー | 12/10 | アル・プラザ茨木店 |
| 八尾市 | 7/1 | 各地域の催し・会合にて配布 | 12/2 | プリズムホール光のプラザ　リノアス周辺 |
| 泉佐野市 | 7/10 | 悪天候ため中止 | 11/28 | 南海泉佐野駅 |
| 富田林市 | 7/16 | エコール・ロゼ　南駐車場時計広場  専門店入口前 | 12/10 | エコール・ロゼ南駐車場時計広場  専門店入口前 |
| 寝屋川市 | 実施なし | | 実施なし | |
| 河内長野市 | 7/11 | 河内長野市役所 | 12/12 | 河内長野駅前ロータリー付近、  ノバティながの　北館１階玄関前 |
| 松原市 | 6/23 | 松原市役所 | 12/29 | 河内天美駅 |
| 大東市 | 7/7 | ポップタウン住道　スペイン広場 | 12/1 | ポップタウン住道　スペイン広場 |
| 和泉市 | 実施なし | | 実施なし | |
| 箕面市 | 7/12 | 阪急箕面駅前　みのおサンプラザ周辺 | 12/20 | 箕面市役所 |
| 柏原市 | 7/7 | JR柏原駅周辺・近鉄河内国分駅周辺 | 12/1 | JR柏原駅周辺、近鉄河内国分駅周辺 |
| 羽曳野市 | 7/25 | 羽曳野市役所 | 12/8 | 四天王寺大学 |
| 門真市 | 7/21 | 京阪古川橋駅前広場 | 12/19 | 京阪古川橋駅前広場 |
| 摂津市 | 7/1から7/31 | 摂津市社会福祉協議会窓口 | 12/14  12/1～28 | 摂津市役所  社会福祉協議会窓口等 |
| 高石市 | 7/21 | 高石駅前 | 12/8 | 高石市役所 |
| 藤井寺市 | 7/20 | イオン藤井寺ショッピングセンター | 12/20 | イオン藤井寺ショッピングセンター |
| 東大阪市 | 7/1から7/31  7/14  7/20 | 東大阪市保健所  東大阪市役所総合庁舎  イオン鴻池店 | 12/10 | 額田グランド |
| 泉南市 | 7/22から23 | イオンりんくう泉南　イオンホール | 実施なし | |
| 四條畷市 | 実施なし（コロナのため中止） | | 12/3  12/16 | イオンモール四條畷  イオンモール四條畷 |
| 交野市 | 実施なし | | 実施なし | |
| 大阪狭山市 | 7/25 | エバグリーン狭山店 | 1/6 | エバグリーン狭山店　周辺道路 |
| 阪南市 | 7/14 | 泉鳥取高校  市内公民館3か所（尾崎公民館・  西鳥取公民館・東鳥取公民館） | 12月～資材がなくなるまで | 尾崎公民館、東鳥取公民館、  西鳥取公民館 |
| 島本町 | 7/14 | 阪急水無瀬駅前 | 12/1 | JR島本駅前 |
| 豊能町 | 7/3 | 豊能町立保健福祉センター | 12/19 | 豊能町立西公民館 |
| 能勢町 | 7/24 | 能勢町役場周辺 | 実施なし | |
| 忠岡町 | 実施なし | | 実施なし | |
| 熊取町 | 7/3 | JR熊取駅周辺 | 12/3 | 熊取町立中央小学校グラウンド |
| 田尻町 | 7/20 | 田尻町総合保健福祉センター  １階エントランスホール | 実施なし | |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 岬町 | 7/4  7/6  7/7  7/8  7/10  7/13  7/17  7/19  7/20  7/21  7/23  7/26 | 岬町立保健センター　介護予防教室  淡輪老人保健センター  岬町立保健センター　介護予防教室  子育て支援センター　みどりっこまつり  岬町立保健センター　健康フラ体操  深日会館  子育て支援センター　乳幼児健康相談  健康ふれあいセンター  深日会館　深日農協婦人部  岬町立保健センター　介護予防教室  岬町立保健センター　乳幼児健診  望海坂第一集会所　出張ほのぼのクラブ | 11/15,21,27  12/4,5,7,8,14,  20  11/30  12/13  12/21 | 岬町立保健センター  子育て支援センター  ①望海坂第一集会所  ②健康ふれあいセンター  深日会館 |
| 太子町 | 7/21 | カインズ太子店 | 12/21 | カインズ太子店前 |
| 河南町 | 8/16 | 河南町役場庁舎及び周辺 | 12/22 | 河南町役場内 |
| 千早赤阪村 | 7/12 | いきいきサロン　くすのき（献血会場）  村内全体　（行政無線による啓発放送・広報車による音声案内とチラシにて啓発巡回） | 12/20 | 村内全域（村内を広報車で走行）（役場内で呼びかけ） |

**８****血液事業のあゆみ**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大正　８年 | 日本で初めての輸血  →輸血医療の普及 | **日本初の献血、**  **枕元輸血※１から保存血液の利用へ** |
| 昭和２３年 | 輸血による梅毒感染事故発生 |
| 昭和２６年 | 輸血用保存血液の製造・供給開始 |
| 昭和２７年 | 日本赤十字社血液銀行が開設 |
| 昭和３１年 | 「**採血及び供血あつせん業取締法**」施行 |
| 昭和３９年 | ライシャワー事件（輸血による血清肝炎に感染） | **売血から献血へ** |
|  | 「献血の推進について」閣議決定 |
|  | 献血の推進について  　政府は、血液事業の現状にかんがみ、可及的速やかに保存血液を  献血により確保するため、国及び地方公共団体による献血思想の普及  と献血の組織化を図るとともに、日本赤十字社または地方公共団体に  よる献血受入れ体制の整備を推進するものとする。 |
| 昭和４９年 | **輸血用血液製剤のすべてを献血で確保する体制の確保**（預血※２制度廃止）  →一方、血漿分画製剤は、売血由来、輸入血漿由来の製品が多数を占める |
| 昭和５０年 | ＷＨＯ（世界保健機構）勧告  　「無償献血を基本とする国営の血液事業を推進すること」 | **成分輸血療法の普及と血漿分画製剤の需要の高まり** |
| 昭和５７年 | 献血手帳の供給欄が削除され、手帳の有無にかかわらず、誰でも、いつでも血液の供給が受けられる体制となる（血液無償の原則） |
| 昭和６１年 | **400ｍＬ献血、成分献血の導入** |
| 平成　２年 | 有償採漿の完全廃止（売血の終焉）  →血液製剤製造目的の採血が日本赤十字社に一元化 |
| 平成　６年 | 血液凝固第Ⅷ因子製剤の国内自給達成  →ただし、平成５年発売の遺伝子組換製剤を含めると自給率14.3%（平成26年） |
| 平成　９年 | 血液行政の在り方に関する懇談会報告  →血液事業は、①国内自給の推進、②安全性の確保、③適正使用、④有効利用、  ⑤透明性の確保を柱として展開されるべきである | **血液事業の新たな展開と血液新法の制定** |
| 平成１５年 | 「**安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律**」施行  →運営指針となる基本理念の設定、地方公共団体等の関係者の責務を規定  「血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針」  適用（平成20年、平成25年改正） |
| 平成１６年 | 「輸血医療の安全性確保のための総合対策」の策定  *→*①健康な献血者の確保の推進、②検査目的献血の防止、③血液製剤に係る  検査・製造体制等の充実、④医療現場における適正使用等の推進、⑤輸血後  感染症対策の推進 |
| 平成１８年 | 「献血者健康被害救済制度」の運用開始 |
| 平成２３年 | 採血基準の改正  →400ｍＬ献血の献血下限年齢引き下げ、血小板成分献血の献血上限年齢引き上げ |
| 令和２年 | 採血基準の改正  →「採血が健康上有害であると認められる者」の基準を新たに規定 |

※１　枕元輸血：注射器で採取した血液を、感染症検査等を行わずそのまま輸血する方法。

※２　預血：健康時に前もって血液を預け、本人や家族などに輸血が必要になった時に払戻しを受ける方法。

大阪府献血推進計画

大 阪 府

令和５年（2023年）３月

**目 次**

第１　目的及び基本理念

１．目的

２．基本理念

第２　計画目標

１．献血者数、献血血液量

２．年代別献血者数

３．献血セミナー数

第３　献血推進

１．役割

２．推進体制の整備

３．方策

＜資料＞　令和５年度献血目標

**大阪府献血推進計画**

# 第１　目的及び基本理念

## １．目的

大阪府をはじめ全国的に少子高齢社会が進行する中、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤（以下「血液製剤」という。）の国内自給の原則に基づき、大阪府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターが連携し、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や、効率的な献血の実施を図り、年間を通じて献血者を安定的に確保することにより、府内で必要とされる輸血用血液を医療機関に安定的に供給することを目的とする。

## ２．基本理念

大阪府の献血推進に当たっては、以下の基本理念にのっとって進めるものとする。

**（１）血液製剤の国内自給**

血液製剤は、原料である血液を介した感染症等の発生の危険性を完全には排除できないものであり、国内献血に由来する血液製剤であれば感染源の特定・回収等の対応が迅速に取りやすいことからも、国内で献血された血液から製造されるもので賄わなければならない。

**（２）安全性の向上**

血液製剤は、原料である血液の特性から、常に安全性向上の努力が必要である。また、使用にあたっては、危険性に対する配慮が求められる。

**（３）適正使用の推進**

血液製剤が人の血液に由来する有限で貴重なものであることから、医療機関において血液製剤の適正使用を一層推進することが必要である。

**（４）血液事業の情報の公開**

血液製剤は、献血者の善意から得られた血液を用いていることから、情報を積極的に府民へ提供する必要がある。

# 第２　計画目標

## １．献血者数、献血血液量

国の示す献血確保目標量及び原料血漿確保目標量に基づき、医療機関への輸血用血液製剤の供給量を考慮し、献血者確保数等を定める。

①献血者数（200mL、400mL、成分献血）、献血血液量確保目標量

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 全血献血 | | 成分献血 | | 合計 |
| 200mL | 400mL | 血漿 | 血小板 |
| 献血者数（人） | 10,592 | 249,651 | 80,199 | 46,982 | 387,424 |
| 献血血液確保  目標量（Ｌ） | 2,118 | 99,860 | 45,071 | 25,567 | 172,617 |

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

②採血場所別献血者数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 採血場所 | 血液センター | 献血ルーム | 移動採血車（オー プン献血含む） |
| 献血者数（人） | 21,179 | 252,374 | 113,871 |

③原料血漿確保目標量、輸血用血液確保目標量

原料血漿確保目標量：　90,495Ｌ

輸血用血液確保目標量：82,122Ｌ　　　　　　　　（詳細は資料参照）

## ２．年代別献血者数

総献血者数に占める年代別の構成比率をなるべく均一にし、将来にわたり安定的に献血者を確保するため、年代別献血者数を定める。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 献血者数（人） | 構成比 |
| １０代（１６～１９歳） | 18,651 | 4.8% |
| ２０代（２０～２９歳） | 65,500 | 16.9% |
| ３０代（３０～３９歳） | 66,300 | 17.1% |
| ４０代以上（４０～６９歳） | 236,973 | 61.2% |
| 合計 | 387,424 | 100.0% |

※表示単位未満四捨五入の処理をしているため、合計欄と一致しない場合があること。

## ３．献血セミナー数

これからの献血を担う若年層への教育の推進を目的として、高等学校等における「献血セミナー」開催の目標回数を定める。

「献血セミナー」開催目標回数：25回

# 第３　献血推進

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、それぞれ分担する業務を確実に遂行するとともに、十分な連携を図り、国が策定する基本方針を踏まえながら、府民、学生献血推進ボランティアをはじめ各種献血協力団体の理解と協力のもとに献血を推進する。特に、将来に亘る血液の安定供給につながる若年層への啓発に取り組む。

## １．役割

**（１）府**

府は、翌年度の大阪府献血推進計画を策定する。その場合、大阪府献血推進審議会において審議するものとする。また、広域的な広報・啓発を通して広く府民の理解と協力を求めるため、市町村献血推進協議会の活動を支援するとともに、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター、市町村等の相互間の調整を行い、円滑な献血推進に努める。

**（２）市町村**

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターと連携のもとに、市町村管内の献血者の計画的な確保に努める。

また、市町村献血推進協議会と連携し、地域における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

**（３）日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター**

本府の献血確保目標を達成するため、献血受入計画を策定するとともに、近畿ブロック血液センターと連携をしながら、採血から製造、供給に至るまでその効率化を図り、献血血液の有効利用に努める。

また、血液製剤の安全性の向上及び安定供給に協力するとともに、献血者等の保護に努める。

## ２．推進体制の整備

目標を達成するため、行政機関、血液事業関係者、民間企業、ボランティア献血組織等の府全体の献血推進組織体制を整備し、連携の強化に努める。

**（１）府**

①大阪府献血推進審議会の開催

大阪府における献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発や血液製剤の適正な使用に関する施策について審議する。

②市町村・市町村献血推進協議会等との連携

大阪府における献血状況、献血目標、事業計画を会議等で示し、市町村、市町村献血推進協議会、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターとの連携を図り献血を推進する。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

④広域的な献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発体制の整備に努める。

⑤献血血液を有効に使用するため、医療機関における血液製剤の適正使用を推進する。

**（２）市町村**

①市町村献血推進協議会等の開催

市町村において献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発並びに年間を通した計画的な献血者の確保等、地域の献血に関する重要事項を協議する。

②地域住民への献血への理解と協力を求めるため、研修会、街頭キャンペーン、広報等の実施体制の整備に努める。

③献血ボランティア組織等の育成や献血に協賛する企業の確保など献血推進体制の整備に努める。

**（３）日本赤十字社大阪府支部・大阪府赤十字血液センター**

①府、市町村との連携・協力のもとに、献血者への正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発と受入体制の整備を図る。

②献血協力団体の組織等の育成及び献血者の円滑な受入体制の整備に努める。

③企業等に対して、献血セミナーを実施し、献血の推進を図るとともに、献血に協賛する企業の円滑な受入れに努める。

**（４）教育委員会・学校**

小学校・中学校・高等学校の総合的な学習の時間等において、“献血セミナー”を活用する等、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発に努める。

また、府、市町村等が実施する献血推進イベント等の周知並びに参加を通し、児童・生徒へ献血の知識等の普及ができる体制を整備する。

**（５）献血協力団体**

移動採血車等の受入れ時に関係者等と連携し、積極的に協力を呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りを推進することが望ましい。

## ３．方策

**（１）普及啓発**

献血は府民の善意によるものであることから府民啓発は必要不可欠であるので、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、ボランティア等関係者の理解と協力を得て、各種イベントの実施、推進月間でのキャンペーンの実施、マスメディアによる継続的な広報、ＳＮＳを含むインターネットの活用、献血啓発作品の募集事業の活用等をすることで、献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての普及啓発を実施する。

１）若年層献血の推進

小学校・中学校・高等学校、大学及び専門学校における“献血セミナー”の開催や、“献血セミナー”等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等への献血W e b会員サービス「ラブラッド」の登録の働きかけ、若年層による献血キャンペーン等を実施することで、若年層の献血への参加を一層推進する。

特に高校生等の献血時には、４００ｍＬ献血の基準に満たない場合、２００ｍＬ献血による受入れも考慮する。

２）複数回献血の推進

血液製剤の安全性の向上及び安定的な確保を図るために、「ラブラッド」会員募集を強化するとともに、「ラブラッド」を活用し、献血等に関する情報の提供など利用者へのサービス向上を図り、複数回献血者の増加に努める。

特に若年層に対し、上記１）等の取組を通じて、複数回献血の推進を図る。

３）４００ｍＬ献血、成分献血の推進

献血量の効率的な確保と安全性を高めるために４００ｍＬ献血、成分献血の一層の推進に努める。

また、近年需要が増大している血漿分画製剤について、献血から得られた血液を原料とすることや、多くの疾患の治療に欠かすことができないことなどを周知するとともに、安定供給が確保されるよう、成分献血への協力の呼びかけを強化する。

４）検査目的の献血の防止

感染症の検査を目的とした献血を防止するための啓発を実施する。特にＨＩＶ検査については、下記の点を周知する。

・血液センターでは、献血によるＨＩＶ検査の結果は通知していない

・府内保健所等で匿名かつ無料でのＨＩＶ検査を行っている

５）採血基準の周知

採血基準について、引き続き関係機関への周知や広報等を利用し、情報発信を行う。

**（２）献血推進の環境整備**

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは、献血者の受入体制を整備する観点から、身近な地域・場所で献血を行うことができるように環境を整備する。

また、府及び市町村等は、その構成員に対し、ボランティア活動である献血に対し積極的に呼びかけるとともに、進んで献血しやすい環境作りに努める。

①大阪府赤十字血液センター

１）「献血者等の健康被害の補償に関するガイドライン」に基づき、健康被害に対する救済のための措置を実施する。

２）採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知することで健康管理サービスの充実を図る。

３）献血希望者に対して、個人情報の取り扱いや血液の利用目的等の説明を行い、同意を得た上で、献血を受け入れる。

４）特に初回献血者が抱いている不安等を軽減することはもとより、献血者の安全確保を図ることが必要である。このため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、映像やリーフレット等を活用した事前説明を採血の度ごとに十分に行う。

５）献血ができなかった献血申込者に対し、その理由（低ヘモグロビン等）について分かりやすく説明するとともに、食事・生活管理の改善に関する啓発を行うなど、その後の献血推進への協力に繋がるよう配慮する。

６）新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、献血者が安心して献血できるよう感染症対策を十分に行うとともに、献血者への対策についての情報発信を適切に行う。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

１）年間を通して献血者の安定確保ができるように、移動採血車の日程、及び献血場所の利便性の向上に努める。

２）献血者に配慮した献血受入時間帯の設定等、献血者の利便性に配慮した献血受入体制の整備及び充実を図る。特に、「ラブラッド」を活用したＷＥＢ予約の推進等に積極的に取り組む。

３）企業等の献血協力団体の理解と協力を得て、効率的な献血が行えるように体制整備に努める。特に若年層の労働者の献血への参加を一層推進する。

**（３）血液製剤の安全性確保**

血液製剤の安全性確保のために、以下の方策を講じる。

①大阪府赤十字血液センター

献血受付時に本人確認を行い、より安全な血液を確保するために、ＨＩＶ等の感染症の検査を目的とした献血を行わないよう、平素から様々な広報手段を用いて、府民に周知徹底する。

②府、市町村、大阪府赤十字血液センター

１）血液製剤の安全性向上のために、４００ｍＬ献血、成分献血の一層の推進を図る。

２）血液製剤の安定供給や安全性確保のために、複数回献血者の確保に努める。

**（４）血液製剤の適正使用**

府、大阪府赤十字血液センターは、各医療機関における血液製剤の適正使用の推進を図り、院内の輸血管理体制を構築するために設置されている輸血療法委員会の活性化の推進に努める。

**（５）ボランティア等の育成**

府、市町村、大阪府赤十字血液センターは相互に連携し、ボランティア等協力団体に献血の正しい知識や必要性、血液製剤についての理解と協力を求め、献血推進の活性化につなげる。

また、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、教育委員会等の協力を得ながら、職域、地域、学校等におけるボランティア等協力団体の育成に努め、献血推進の活性化を図る。

**（６）情報の公開**

府、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは献血及び血液製剤に関する情報を積極的に公開する。

１）献血者の個人情報保護のもとに、献血血液の確保・利用状況や血液製剤の安全性に関する情報をわかりやすい形で広く府民に公開し、府民の理解を得て献血を推進する。

２）現在開設しているホームページを充実させ、積極的かつ継続的に情報を提供する。

**（７）血液製剤の在庫状況の把握と不足時の対応**

①府

赤血球製剤等の在庫状況を常に把握する。また、在庫が不足または不足すると予測される場合、広報による献血協力呼びかけ、臨時的に府職員献血等の実施、関係団体等への献血依頼等により、献血者の確保に努める。

②市町村

必要に応じて府等により提供される赤血球製剤等の在庫状況により府内の現状を把握し、在庫が不足または不足すると予測される場合、市町村献血推進協議会との連携等により、臨時的に地域献血や市町村職員献血等を実施し、献血者の確保に努める。

③日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センター

府内の在庫状況を常に府へ情報提供するものとする。在庫が不足または不足すると予測される場合、献血協力呼びかけの強化を行う。また、受付時間の延長、配車計画の見直し等により、献血者の円滑な受入れに努める。

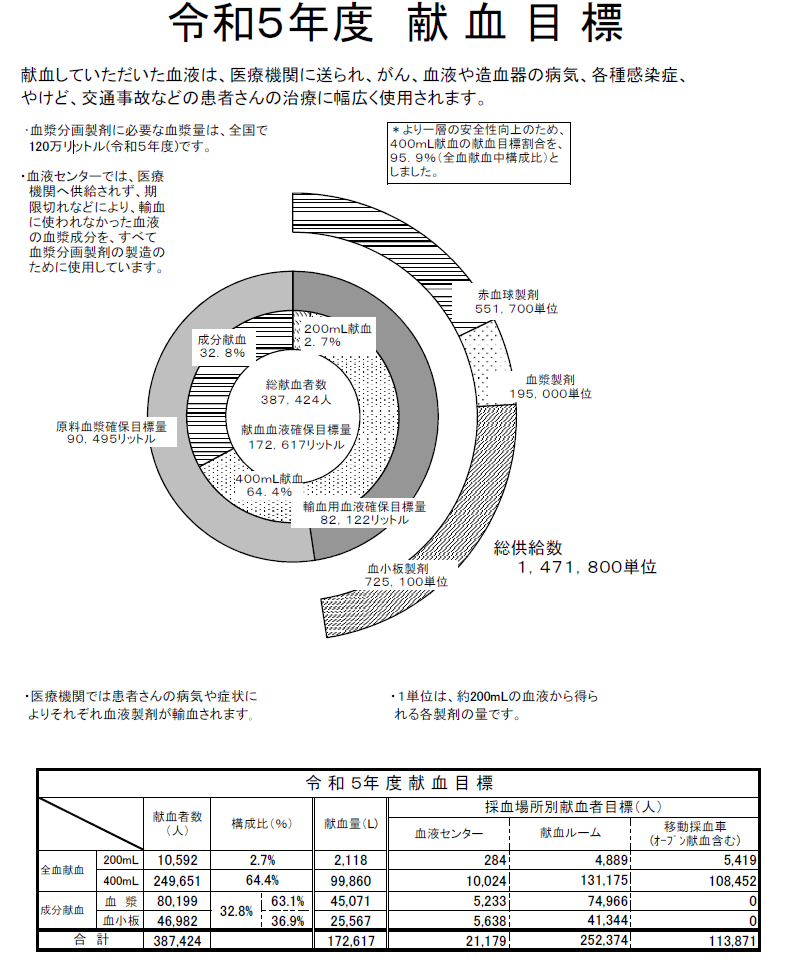
**（８）災害時、新興・再興感染症まん延時等における献血の確保**

府、市町村、日本赤十字社大阪府支部、大阪府赤十字血液センターは、互いに連携を図り、以下の方策を講じる。

１）災害時等に医療需要に応じた必要な血液量を確保できるよう、様々な広報手段を用いて、献血への協力を呼びかける。その際、大阪府赤十字血液センターは、被害状況等の情報収集を行ったうえで、献血受入れの可否について判断するなど、献血者の安全に十分に配慮する。

２）大阪府赤十字血液センターは、災害時等における献血受入体制を構築し、関係者との通信手段の確保、広域的な需給調整の対応を含む事業継続計画を定め、府、市町村、日本赤十字社大阪府支部と連携して対応できるよう備えることにより、災害時等における献血の受入れを行う。

３）採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、大阪府赤十字血液センターは、新型コロナウイルス感染症等の新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報手段（テレビ、ラジオ、ＳＮＳを含むインターネット等）を用いて、献血者への協力を呼びかける。また、府及び市町村はこの取組を支援する。



参考資料

**１****令和５年度　献血状況〔献血者数〕**

**大阪府**

（単位：人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 血液センター | | | | 採　　血　　車 | | | | 出張所（献血ルーム） | | | | 出張採血 | | | | 合　　　　　　　　　　　　　　計 | | | | | | |  |
| 成分献血 | ４００ｍＬ | ２００ｍＬ | 計 | 成分献血 | ４００ｍＬ | ２００ｍＬ | 計 | 成分献血 | ４００ｍＬ | ２００ｍＬ | 計 | 成分献血 | ４００ｍＬ | ２００ｍＬ | 計 | 成分献血 | | | | ４００ｍＬ | ２００ｍＬ | 合計 | 前年度 |
| PPP | PRP | PC | 計 | 実績 |
| 構　　　成　　　比 | | | | | |  | 対比％ |
| ４ | 976 | 809 | 18 | 1,803 | 0 | 8,596 | 403 | 8,999 | 9,145 | 10,835 | 235 | 20,215 | 0 | 417 | 17 | 434 | 6,278 | 0 | 3,843 | 10,121 | 20,657 | 673 | 31,451 | 31,368 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 32.2% | 65.7% | 2.1% | 100.0% | 100.3% |
| ５ | 951 | 805 | 16 | 1,772 | 0 | 8,045 | 326 | 8,371 | 10,338 | 11,111 | 270 | 21,719 | 0 | 358 | 39 | 397 | 7,459 | 0 | 3,830 | 11,289 | 20,319 | 651 | 32,259 | 33,063 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 35.0% | 63.0% | 2.0% | 100.0% | 97.6% |
| ６ | 956 | 814 | 19 | 1,789 | 0 | 8,836 | 405 | 9,241 | 9,713 | 10,603 | 273 | 20,589 | 0 | 745 | 41 | 786 | 6,706 | 0 | 3,963 | 10,669 | 20,998 | 738 | 32,405 | 32,695 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 32.9% | 64.8% | 2.3% | 100.0% | 99.1% |
| ７ | 936 | 833 | 32 | 1,801 | 0 | 7,671 | 312 | 7,983 | 9,910 | 10,840 | 322 | 21,072 | 0 | 1,014 | 32 | 1,046 | 6,948 | 0 | 3,898 | 10,846 | 20,358 | 698 | 31,902 | 32,524 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 34.0% | 63.8% | 2.2% | 100.0% | 98.1% |
| ８ | 994 | 801 | 32 | 1,827 | 0 | 8,599 | 273 | 8,872 | 9,774 | 10,504 | 332 | 20,610 | 0 | 559 | 25 | 584 | 6,722 | 0 | 4,046 | 10,768 | 20,463 | 662 | 31,893 | 31,938 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 33.8% | 64.2% | 2.1% | 100.0% | 99.9% |
| ９ | 863 | 734 | 18 | 1,615 | 0 | 7,846 | 419 | 8,265 | 9,934 | 10,923 | 340 | 21,197 | 0 | 934 | 28 | 962 | 6,936 | 0 | 3,861 | 10,797 | 20,437 | 805 | 32,039 | 30,995 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 33.7% | 63.8% | 2.5% | 100.0% | 103.4% |
| 10 | 907 | 787 | 18 | 1,712 | 0 | 8,916 | 465 | 9,381 | 10,245 | 11,274 | 284 | 21,803 | 0 | 394 | 23 | 417 | 7,224 | 0 | 3,928 | 11,152 | 21,371 | 790 | 33,313 | 33,833 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 33.5% | 64.2% | 2.4% | 100.0% | 98.5% |
| 11 | 848 | 720 | 22 | 1,590 | 0 | 8,443 | 395 | 8,838 | 9,822 | 10,719 | 266 | 20,807 | 0 | 587 | 69 | 656 | 6,918 | 0 | 3,752 | 10,670 | 20,469 | 752 | 31,891 | 32,531 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 33.5% | 64.2% | 2.4% | 100.0% | 98.0% |
| 12 | 891 | 804 | 15 | 1,710 | 0 | 9,487 | 412 | 9,899 | 9,778 | 11,055 | 274 | 21,107 | 0 | 400 | 20 | 420 | 6,737 | 0 | 3,932 | 10,669 | 21,746 | 721 | 33,136 | 32,537 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 32.2% | 65.6% | 2.2% | 100.0% | 101.8% |
| １ | 932 | 772 | 11 | 1,715 | 0 | 8,783 | 243 | 9,026 | 10,076 | 11,429 | 212 | 21,717 | 0 | 654 | 17 | 671 | 7,161 | 0 | 3,847 | 11,008 | 21,638 | 483 | 33,129 | 31,547 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 33.2% | 65.3% | 1.5% | 100.0% | 105.0% |
| ２ | 842 | 741 | 10 | 1,593 | 0 | 7,826 | 390 | 8,216 | 9,952 | 10,618 | 269 | 20,839 | 0 | 1,064 | 29 | 1,093 | 7,121 | 0 | 3,673 | 10,794 | 20,249 | 698 | 31,741 | 31,017 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 34.0% | 63.8% | 2.2% | 100.0% | 102.3% |
| ３ | 994 | 879 | 21 | 1,894 | 0 | 7,943 | 284 | 8,227 | 10,237 | 11,866 | 341 | 22,444 | 0 | 928 | 19 | 947 | 7,205 | 0 | 4,026 | 11,231 | 21,616 | 665 | 33,512 | 32,823 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 33.5% | 64.5% | 2.0% | 100.0% | 102.1% |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 計 | 11,090 | 9,499 | 232 | 20,821 | 0 | 100,991 | 4,327 | 105,318 | 118,924 | 131,777 | 3,418 | 254,119 | 0 | 8,054 | 359 | 8,413 | 83,415 | 0 | 46,599 | 130,014 | 250,321 | 8,336 | 388,671 | 386,871 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 33.5% | 64.4% | 2.1% | 100.0% | 100.5% |
| R4 | 12,154 | 10,079 | 270 | 22,503 | 0 | 101,521 | 4,371 | 105,892 | 114,329 | 131,242 | 3,575 | 249,146 | 0 | 8,924 | 406 | 9,330 | 79,687 | 0 | 46,796 | 126,483 | 251,766 | 8,622 | 386,871 |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 32.7% | 65.1% | 2.2% | 100.0% |  |

血液センター 出張所

森ノ宮、南大阪 阪急グランドビル・御堂筋・あべの・曽根崎・

門真・西梅田・阪急茨木市駅・京阪枚方市駅・堺東・まいどなんば　各献血ルーム

**２****市町村別献血者数**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 市町村名 | 夜 間 人 口（人）  （令和２年国勢調査） | （※１） | （居住地別） 献血者数（人） | 昼 間 人 口  （人）  （令和２年国勢調査） | （※２） | （献血場所別） 献血者数（人） |
| （人） | （人） |
| 大阪市 | 2,752,412 | 120,659 | 111,873 | 3,645,921 | 44,990 | 41,621 |
| 堺　 市 | 826,161 | 36,217 | 26,449 | 770,547 | 9,508 | 8,080 |
| 岸和田市 | 190,658 | 8,358 | 6,436 | 168,869 | 2,084 | 2,538 |
| 豊中市 | 401,558 | 17,603 | 14,134 | 351,933 | 4,343 | 3,572 |
| 池田市 | 104,993 | 4,603 | 4,294 | 95,189 | 1,175 | 1,901 |
| 吹田市 | 385,567 | 16,902 | 15,139 | 373,037 | 4,603 | 3,777 |
| 泉大津市 | 74,412 | 3,262 | 2,684 | 64,854 | 800 | 1,063 |
| 高槻市 | 352,698 | 15,461 | 13,427 | 302,566 | 3,734 | 5,279 |
| 貝塚市 | 84,443 | 3,702 | 2,796 | 74,850 | 924 | 954 |
| 守口市 | 143,096 | 6,273 | 5,216 | 132,451 | 1,634 | 1,641 |
| 枚方市 | 397,289 | 17,416 | 15,699 | 346,010 | 4,270 | 2,789 |
| 茨木市 | 287,730 | 12,613 | 12,147 | 270,585 | 3,339 | 2,550 |
| 八尾市 | 264,642 | 11,601 | 9,335 | 248,815 | 3,070 | 4,403 |
| 泉佐野市 | 100,131 | 4,390 | 3,124 | 108,036 | 1,333 | 2,066 |
| 富田林市 | 108,699 | 4,765 | 3,600 | 96,104 | 1,186 | 1,780 |
| 寝屋川市 | 229,733 | 10,071 | 8,064 | 197,708 | 2,440 | 1,676 |
| 河内長野市 | 101,692 | 4,458 | 3,336 | 84,978 | 1,049 | 1,191 |
| 松原市 | 117,641 | 5,157 | 4,404 | 104,961 | 1,295 | 1,304 |
| 大東市 | 119,367 | 5,233 | 4,503 | 114,685 | 1,415 | 1,847 |
| 和泉市 | 184,495 | 8,088 | 5,928 | 157,544 | 1,944 | 2,406 |
| 箕面市 | 136,868 | 6,000 | 5,577 | 117,584 | 1,451 | 2,438 |
| 柏原市 | 68,775 | 3,015 | 2,353 | 64,286 | 793 | 600 |
| 羽曳野市 | 108,736 | 4,767 | 3,703 | 92,895 | 1,146 | 951 |
| 門真市 | 119,764 | 5,250 | 4,166 | 129,861 | 1,602 | 1,200 |
| 摂津市 | 87,456 | 3,834 | 3,124 | 97,349 | 1,201 | 683 |
| 高石市 | 55,635 | 2,439 | 2,135 | 52,025 | 642 | 409 |
| 藤井寺市 | 63,688 | 2,792 | 2,796 | 54,735 | 675 | 1,794 |
| 東大阪市 | 493,940 | 21,653 | 17,728 | 507,267 | 6,260 | 5,634 |
| 泉南市 | 60,102 | 2,635 | 1,477 | 56,714 | 700 | 1,763 |
| 四條畷市 | 55,177 | 2,419 | 1,992 | 46,679 | 576 | 2,550 |
| 交野市 | 75,033 | 3,289 | 2,973 | 58,432 | 721 | 337 |
| 大阪狭山市 | 58,435 | 2,562 | 2,083 | 51,372 | 634 | 591 |
| 阪南市 | 51,254 | 2,247 | 1,329 | 39,723 | 490 | 283 |
| 島本町 | 30,927 | 1,356 | 1,135 | 24,722 | 305 | 273 |
| 豊能町 | 18,279 | 801 | 568 | 13,246 | 163 | 110 |
| 能勢町 | 9,079 | 398 | 275 | 8,494 | 105 | 175 |
| 忠岡町 | 16,567 | 726 | 552 | 15,181 | 187 | 67 |
| 熊取町 | 43,763 | 1,918 | 1,490 | 35,586 | 439 | 392 |
| 田尻町 | 8,434 | 370 | 255 | 9,589 | 118 | 107 |
| 岬　 町 | 14,741 | 646 | 374 | 12,234 | 151 | 227 |
| 太子町 | 13,009 | 570 | 462 | 9,868 | 122 | 202 |
| 河南町 | 15,697 | 688 | 538 | 15,735 | 194 | 450 |
| 千早赤阪村 | 4,909 | 215 | 126 | 4,645 | 57 | 57 |
| ｾﾝﾀ-・ﾙ-ﾑ |  |  |  |  | 273,553 | 274,940 |
| 他府県 |  |  | 58,872 |  |  |  |
| 総 数 | 8,837,685 | 387,424 | 388,671 | 9,227,865 | 387,424 | 388,671 |
| （※１）　令和５年度の献血目標387,424人を各市町村の夜間人口で単純に割り振った人数 | | | | | | |
| （※２）　令和５年度の移動採血車での献血者目標113,871人を各市町村の昼間人口で単純に割り振った人数 | | | | | | |

**３****令和５年度都道府県別献血者状況**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 人　口 | 献血量 | | 献血者数合計 | | 成分献血 | | 400mL献血 | | 200mL献血 | |
|  | 千人当り |  | 献血率 | 献血者数 | 構成比 | 献血者数 | 構成比 | 献血者数 | 構成比 |
| （人） | （L) | （L) | （人） | （％） | （人） | （％） | （人） | （％） | （人） | （％） |
| 北海道 | 5,224,614 | 105,526.12 | 20.2 | 248,674 | 4.8% | 53,907 | 21.7% | 185,642 | 74.7% | 9,125 | 3.7% |
| 青　 森 | 1,237,984 | 20,929.20 | 16.9 | 47,093 | 3.8% | 13,058 | 27.7% | 32,787 | 69.6% | 1,248 | 2.7% |
| 岩　 手 | 1,210,534 | 19,569.71 | 16.2 | 44,069 | 3.6% | 12,237 | 27.8% | 30,574 | 69.4% | 1,258 | 2.9% |
| 宮　 城 | 2,301,996 | 39,154.99 | 17.0 | 90,457 | 3.9% | 27,239 | 30.1% | 60,984 | 67.4% | 2,234 | 2.5% |
| 秋　 田 | 959,502 | 17,377.86 | 18.1 | 37,140 | 3.9% | 12,648 | 34.1% | 23,870 | 64.3% | 622 | 1.7% |
| 山　 形 | 1,068,027 | 18,814.03 | 17.6 | 42,246 | 4.0% | 12,691 | 30.0% | 28,763 | 68.1% | 792 | 1.9% |
| 福　 島 | 1,833,152 | 32,513.59 | 17.7 | 73,104 | 4.0% | 20,639 | 28.2% | 50,561 | 69.2% | 1,904 | 2.6% |
| 茨　 城 | 2,867,009 | 45,484.89 | 15.9 | 102,914 | 3.6% | 28,855 | 28.0% | 70,766 | 68.8% | 3,293 | 3.2% |
| 栃　 木 | 1,933,146 | 41,303.54 | 21.4 | 93,913 | 4.9% | 28,584 | 30.4% | 59,012 | 62.8% | 6,317 | 6.7% |
| 群　 馬 | 1,939,110 | 38,887.65 | 20.1 | 86,906 | 4.5% | 28,096 | 32.3% | 55,113 | 63.4% | 3,697 | 4.3% |
| 埼　 玉 | 7,344,765 | 105,285.70 | 14.3 | 241,491 | 3.3% | 64,121 | 26.6% | 165,004 | 68.3% | 12,366 | 5.1% |
| 千　 葉 | 6,284,480 | 105,091.73 | 16.7 | 236,025 | 3.8% | 72,200 | 30.6% | 157,984 | 66.9% | 5,841 | 2.5% |
| 東　 京 | 14,047,594 | 261,709.94 | 18.6 | 583,054 | 4.2% | 202,902 | 34.8% | 359,179 | 61.6% | 20,973 | 3.6% |
| 神奈川 | 9,237,337 | 150,413.07 | 16.3 | 333,282 | 3.6% | 114,949 | 34.5% | 208,095 | 62.4% | 10,238 | 3.1% |
| 新　 潟 | 2,201,272 | 42,540.52 | 19.3 | 92,165 | 4.2% | 34,454 | 37.4% | 55,967 | 60.7% | 1,744 | 1.9% |
| 山　 梨 | 809,974 | 16,909.60 | 20.9 | 37,029 | 4.6% | 12,576 | 34.0% | 23,760 | 64.2% | 693 | 1.9% |
| 長　 野 | 2,048,011 | 34,053.61 | 16.6 | 75,670 | 3.7% | 24,588 | 32.5% | 50,117 | 66.2% | 965 | 1.3% |
| 富　 山 | 1,034,814 | 17,030.47 | 16.5 | 38,020 | 3.7% | 11,158 | 29.3% | 25,757 | 67.7% | 1,105 | 2.9% |
| 石　 川 | 1,132,526 | 20,425.26 | 18.0 | 44,345 | 3.9% | 16,604 | 37.4% | 26,316 | 59.3% | 1,425 | 3.2% |
| 福　 井 | 766,863 | 12,642.48 | 16.5 | 28,033 | 3.7% | 7,908 | 28.2% | 19,324 | 68.9% | 801 | 2.9% |
| 岐　 阜 | 1,978,742 | 29,623.81 | 15.0 | 67,462 | 3.4% | 19,384 | 28.7% | 45,442 | 67.4% | 2,636 | 3.9% |
| 静　 岡 | 3,633,202 | 57,919.43 | 15.9 | 130,568 | 3.6% | 37,224 | 28.5% | 88,135 | 67.5% | 5,209 | 4.0% |
| 愛　 知 | 7,542,415 | 134,497.41 | 17.8 | 294,482 | 3.9% | 114,147 | 38.8% | 173,369 | 58.9% | 6,966 | 2.4% |
| 三　 重 | 1,770,254 | 30,418.69 | 17.2 | 64,830 | 3.7% | 26,946 | 41.6% | 37,307 | 57.5% | 577 | 0.9% |
| 滋　 賀 | 1,413,610 | 23,014.01 | 16.3 | 54,421 | 3.8% | 10,134 | 18.6% | 42,983 | 79.0% | 1,304 | 2.4% |
| 京　 都 | 2,578,087 | 48,756.27 | 18.9 | 110,284 | 4.3% | 32,910 | 29.8% | 76,342 | 69.2% | 1,032 | 0.9% |
| 大　 阪 | 8,837,685 | 173,604.89 | 19.6 | 388,671 | 4.4% | 130,014 | 33.5% | 250,321 | 64.4% | 8,336 | 2.1% |
| 兵　 庫 | 5,465,002 | 92,285.60 | 16.9 | 210,885 | 3.9% | 58,618 | 27.8% | 146,968 | 69.7% | 5,299 | 2.5% |
| 奈　 良 | 1,324,473 | 21,262.64 | 16.1 | 48,782 | 3.7% | 13,955 | 28.6% | 33,093 | 67.8% | 1,734 | 3.6% |
| 和歌山 | 922,584 | 17,877.21 | 19.4 | 41,304 | 4.5% | 9,652 | 23.4% | 30,551 | 74.0% | 1,101 | 2.7% |
| 鳥　 取 | 553,407 | 10,691.56 | 19.3 | 22,763 | 4.1% | 7,660 | 33.7% | 15,052 | 66.1% | 51 | 0.2% |
| 島　 根 | 671,126 | 9,802.58 | 14.6 | 21,161 | 3.2% | 7,298 | 34.5% | 13,802 | 65.2% | 61 | 0.3% |
| 岡　 山 | 1,888,432 | 35,448.78 | 18.8 | 78,200 | 4.1% | 24,204 | 31.0% | 53,481 | 68.4% | 515 | 0.7% |
| 広　 島 | 2,799,702 | 53,703.55 | 19.2 | 117,609 | 4.2% | 41,138 | 35.0% | 75,600 | 64.3% | 871 | 0.7% |
| 山　 口 | 1,342,059 | 21,169.28 | 15.8 | 48,934 | 3.6% | 9,006 | 18.4% | 39,624 | 81.0% | 304 | 0.6% |
| 徳　 島 | 719,559 | 12,005.38 | 16.7 | 26,585 | 3.7% | 8,280 | 31.1% | 18,175 | 68.4% | 130 | 0.5% |
| 香　 川 | 950,244 | 16,557.40 | 17.4 | 36,752 | 3.9% | 9,735 | 26.5% | 26,897 | 73.2% | 120 | 0.3% |
| 愛　 媛 | 1,334,841 | 23,995.51 | 18.0 | 52,964 | 4.0% | 16,610 | 31.4% | 36,238 | 68.4% | 116 | 0.2% |
| 高　 知 | 691,527 | 13,168.65 | 19.0 | 28,854 | 4.2% | 9,117 | 31.6% | 19,480 | 67.5% | 257 | 0.9% |
| 福　 岡 | 5,135,214 | 98,186.54 | 19.1 | 218,938 | 4.3% | 65,275 | 29.8% | 153,267 | 70.0% | 396 | 0.2% |
| 佐　 賀 | 811,442 | 15,578.64 | 19.2 | 33,116 | 4.1% | 13,334 | 40.3% | 19,572 | 59.1% | 210 | 0.6% |
| 長　 崎 | 1,312,317 | 24,795.27 | 18.9 | 54,740 | 4.2% | 17,052 | 31.2% | 36,736 | 67.1% | 952 | 1.7% |
| 熊　 本 | 1,738,301 | 34,131.37 | 19.6 | 74,779 | 4.3% | 22,603 | 30.2% | 51,313 | 68.6% | 863 | 1.2% |
| 大　 分 | 1,123,852 | 21,331.09 | 19.0 | 47,744 | 4.2% | 12,732 | 26.7% | 34,739 | 72.8% | 273 | 0.6% |
| 宮　 崎 | 1,069,576 | 18,656.32 | 17.4 | 41,287 | 3.9% | 12,324 | 29.8% | 28,799 | 69.8% | 164 | 0.4% |
| 鹿児島 | 1,588,256 | 27,901.61 | 17.6 | 61,934 | 3.9% | 15,850 | 25.6% | 45,740 | 73.9% | 344 | 0.6% |
| 沖　 縄 | 1,467,480 | 25,072.64 | 17.1 | 55,602 | 3.8% | 15,676 | 28.2% | 39,633 | 71.3% | 293 | 0.5% |
| 全　国 | 126,146,099 | 2,237,120.07 | 17.7 | 5,009,281 | 4.0% | 1,560,292 | 31.1% | 3,322,234 | 66.3% | 126,755 | 2.5% |
| ※１ 人口：令和２年国勢調査に基づく。 | | | | | | | | | | |
| ※2 献血量は端数処理しているため合計量と内訳の計とは必ずしも一致しない。 | | | | | | | | | | |
| ※3 構成比は端数処理しているため、合計が必ずしも100％にはならない。 | | | | | | | | | | |

**４****献血受入固定施設**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **①大阪府赤十字血液センター**  free1 **0120-326759**  **大阪市城東区森之宮 2-4-43**  ＪＲ環状線・大阪メトロ森ノ宮駅下車  東へ350ｍ | | | **②大阪赤十字血液センター 南大阪事業所**  **（令和５年7月貝塚市から岸和田市へ移転）**  free1 **0120-736759**  **大阪府岸和田市八阪町3-9-18**  JR阪和線下松駅  南へ徒歩11分 | | | **③あべの献血ルームKiZooNa**  free1 **0120-366759**  **大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-3-21**  岸本ビル3階 | | | | **④阪急グランドビル24献血ルーム**  free1 **0120-376759**  **大阪市北区角田町8-47**  阪急グランドビル24階 | | |
| **9時～17時** **成分献血は16時30分まで** ただし、日曜日に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | **9時～17時** **成分献血は15時まで**  **受付**  **時間** | | | **10時～18時** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | | **10時～18時** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | |
| 土曜日、祝日（振替休日含む）、年末年始 ※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は日曜日を開設します  **休日** | | | **開設日** | | 土曜日  （祝日、年末年始は除く） | **休日** | | 年末年始 | | **休日** | 年末年始 | |
| **駐**  **WiF**  **i**  **全望**  **成** | | | **WiF**  **i**  **駐**  **全望**  **成** | | | **WiFi**  **駅**  **全望**  **成** | | | | **WiFi**  **眺望**  **駅**  **全望**  **成** | | |
| **タイムライン が含まれている画像  自動的に生成された説明** | | |  | | | テキスト, ホワイトボード  自動的に生成された説明 | | | | 地図  **WiFi** | | |
| **⑤西梅田献血ルーム**  説明: free1 **0120-316759**  **大阪市北区梅田2-2-2**  ヒルトンプラザウエスト  オフィスタワー10階 | | | **⑥まいどなんば献血ルーム**  説明: free1 **0120-296759**  **大阪市中央区難波　4-4-4**  難波御堂筋センタービル4階  大阪メトロ御堂筋線なんば駅  10号出口直結 | | | **⑦御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ**  free1 **0120-276759**  **大阪市中央区西心斎橋1-4-5**  御堂筋ビル地下1階  大阪メトロ心斎橋駅7号出口より  南へすぐ | | | | **⑧門真献血ルーム**  説明: free1 **0120-356759**  **大阪府門真市一番町 23-16**   門真運転免許試験場別館1階  京阪古川橋駅下車後、京阪バス  試験場、または徒歩で約1．2km | | |
| **10時～18時** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | **10時30分～18時30分** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | **10時～18時** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | | **9時～12時、13時～16時30分**  **受付**  **時間**  **全血献血のみ受付** | | |
| **休日** | 年末年始 | | **休日** | | 年末年始 | **休日** | 年末年始 | | | **休日** | | 土曜日、祝日（振替休日含む）、年末年始  ※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は日曜日を開設します。 |
| **WiFi**  **眺望**  **駅**  **成**  **全望** | | | **WiFi**  **成**  **全望**  **駅** | | | **WiFi**  **全望**  **成**  **全望**  **駅** | | | | **全望** | | |
| テキスト  自動的に生成された説明 | | | タイムライン が含まれている画像  自動的に生成された説明 | | | テキスト, ホワイトボード  自動的に生成された説明 | | | | タイムライン  自動的に生成された説明 | | |
| **⑨阪急茨木市駅献血ルーム**  free1 **0120-346759**  **大阪府茨木市永代町1-5**  阪急京都線茨木市駅  ロサヴィア１階東側 | | | **⑩京阪枚方市駅献血ルーム**  free1 **0120-336759**  **大阪府枚方市岡東町 19-1**  京阪枚方市駅東口１階５号階段横 | | | **⑪堺東献血ルーム**  free1 **0120-386759**  **大阪府堺市堺区北瓦町 2-4-18**  現代堺東駅前ビル５階  　　　　　（旧りそな堺東ビル） | | | | **⑫曾根崎献血ルーム　RedOne CLUB**  **（令和５年４月開設）**  free1 **0120-266759**  **大阪市北区曾根崎2-16-19**  メッセージ梅田ビル 地下２階 | | |
| **10時～13時、14時～18時** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | **10時～13時、14時～18時** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | **10時～13時、14時～18時** **成分献血は17時30分まで** ただし、土・日・祝に限り15時まで  **受付**  **時間** | | | | **10時～17時30分**  **受付**  **時間**  **血漿成分献血専用・完全予約制** | | |
| **休日** | | 水曜日、第3土曜日、第4日曜日、  年末年始 | **休日** | 金曜日、第1・3日曜日、年末年始 | | )  **休日** | | | 木曜日、第3日曜日、年末年始 | **休日** | 年末年始 | |
| **WiFi**  **成**  **全望**  **駐**  **駅** | | | **WiFi**  **成**  **全望**  **駐**  **駅** | | | **WiFi**  **成**  **全望**  **駐**  **駅** | | | | **駅**  **成** | | |
| ダイアグラム, テキスト が含まれている画像  自動的に生成された説明 | | | ダイアグラム  自動的に生成された説明 | | | テキスト, ホワイトボード  自動的に生成された説明 | | | |  | | |
| **ルームの施設案内凡例** | | | | | |  | | | |
| **成分献血実施　　　　　全血献血実施　　　　　駐車場有　　　　　駅から近い**  **駐**  **全望**  **成**  **駅** | | | | | |  | | | |
| **眺望良好　　　　　　　　ＷｉＦｉ設置**  **WiFi**  **眺望** | | | | | |  | | | |

**５****市町村献血推進協議会事務局連絡先一覧**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 推進協議会名 | | 事 務 局 名 | 郵便番号 | 所　在　地 | 電話番号 | ＦＡＸ |
| 1 | 大阪市 | 保健所　感染症対策課  （推進協議会ではなく、献血事務担当課） | 545-0051 | 大阪市阿倍野区旭町1-2-7-1000 | 06-6647-0656 | 06-6647-1029 |
| 2 | 堺市 | 市民協働課 | 590-0078 | 堺市堺区南瓦町3-1 | 072-228-7405 | 072-228-0371 |
| 3 | 岸和田市 | 社会福祉協議会 | 596-0076 | 岸和田市野田町1丁目5番5号 | 072-437-8854 | 072-431-1500 |
| 4 | 豊中市 | 社会福祉協議会 | 561-0881 | 豊中市中桜塚2-29-31　地域共生センター東館2階 | 06-6841-9393 | 06-6841-2388 |
| 5 | 池田市 | 社会福祉協議会　総務課 | 563-0025 | 池田市城南3丁目1番40号 | 072-751-0421 | 072-753-3444 |
| 6 | 吹田市 | 福祉部福祉総務室 | 564-8550 | 吹田市泉町1丁目3番40号 | 06-6384-1803 | 06-6368-7348 |
| 7 | 泉大津市 | 社会福祉協議会 | 595-0026 | 泉大津市東雲町9-15 | 0725-23-1393 | 0725-23-1394 |
| 8 | 高槻市 | 社会福祉協議会 | 569-0065 | 高槻市城西町4番6号　地域福祉会館 | 072-674-7496 | 072-661-4901 |
| 9 | 貝塚市 | 社会福祉協議会 | 597-0072 | 貝塚市畠中1丁目18番8号 | 072-439-0294 | 072-439-0035 |
| 10 | 守口市 | 健康福祉部　地域福祉課 | 570-8666 | 守口市京阪本通2-5-5 | 06-6992-1570 | 06-6992-1505 |
| 11 | 枚方市 | 社会福祉協議会 | 573-1191 | 枚方市新町2丁目1-35 ラポールひらかた内 | 072-807-3448 | 072-841-0182 |
| 12 | 茨木市 | 健康医療部　医療政策課 | 567-8505 | 茨木市駅前三丁目８番13号 | 072-655-2756 | 072-622-1877 |
| 13 | 八尾市 | 社会福祉協議会 | 581-0003 | 八尾市本町2-4-10 | 072-991-1161 | 072-924-0974 |
| 14 | 泉佐野市 | 健康福祉部 地域共生推進課 | 598-8550 | 泉佐野市市場東1丁目1-1 | 072-463-1212 （内線2151） | 072-463-8600 |
| 15 | 富田林市 | 社会福祉協議会 | 584-0037 | 富田林市宮甲田町9番9号 | 0721-25-8261 | 0721-25-8230 |
| 16 | 寝屋川市 | 社会福祉協議会 | 572-8566 | 寝屋川市池田西町24番5号 市立池の里市民  交流ｾﾝﾀｰ内 | 072-838-0400 | 072-838-0166 |
| 17 | 河内長野市 | 社会福祉協議会 | 586-0033 | 河内長野市喜多町６６３番１　イズミヤ河内長野店　４階内 | 0721-65-0133 | 0721-65-0143 |
| 18 | 松原市 | 社会福祉協議会　総務課　生活支援係 | 580-0043 | 松原市阿保1丁目1番1号　松原市役所東別館内 | 072-333-0294 | 072-335-0294 |
| 19 | 大東市 | 社会福祉協議会 | 574-0037 | 大東市新町13-13　大東市立総合福祉センター内 | 072-874-1082 | 072-874-1828 |
| 20 | 和泉市 | 福祉部　福祉総務課 | 594-8501 | 和泉市府中町2丁目7番5号 | 0725-99-8126 | 0725-45-9352 |
| 21 | 箕面市 | 社会福祉協議会　総務課 | 562-0036 | 箕面市船場西1丁目11番35号 | 072-749-1109 | 072-749-1566 |
| 22 | 柏原市 | 健康部　健康づくり課 | 582-8555 | 柏原市安堂町1番55号 | 072-920-7381 | 072-920-7036 |
| 23 | 羽曳野市 | 社会福祉協議会 | 583-8585 | 羽曳野市誉田4丁目1-1(総合福祉センター内） | 072-958-2315 | 072-958-3853 |
| 24 | 門真市 | 保健福祉部　健康増進課 | 571-0064 | 門真市御堂町14-1 | 06-6904-6400 | 06-6904-6832 |
| 25 | 摂津市 | 社会福祉協議会　地域福祉課 | 566-0022 | 摂津市三島2-5-4 | 06-4860-6460 | 06-6383-9102 |
| 26 | 高石市 | 保健福祉部　地域包括ケア推進課 | 592-8585 | 高石市加茂4丁目1番1号 | 072-267-1160 | 072-265-3100 |
| 27 | 藤井寺市 | 健康福祉部　健康課 | 583-8583 | 藤井寺市岡1丁目1番1号 | 072-939-1112 | 072-939-9099 |
| 28 | 東大阪市 | 健康部保健所地域健康企画課 | 578-0941 | 東大阪市岩田町4丁目3番22-300号 | 072-960-3801 | 072-960-3806 |
| 29 | 泉南市 | 健康こども部　保健推進課 | 590-0504 | 泉南市信達市場1584-1 | 072-482-7615 | 072-485-1621 |
| 30 | 四條畷市 | 社会福祉協議会 | 575-0043 | 四條畷市北出町3番1号　市民活動センター | 072-878-1210 | 072-878-6888 |
| 31 | 交野市 | 福祉部　福祉総務課 | 576-0034 | 交野市天野が原町5-5-1 | 072-893-6400 | 072-895-6065 |
| 32 | 大阪狭山市 | 健康福祉部健康推進ｸﾞﾙｰﾌﾟ | 589-0032 | 大阪狭山市岩室1丁目97番地の3 | 072-367-1300 | 072-367-1359 |
| 33 | 阪南市 | 健康福祉部　健康増進課 | 599-0203 | 阪南市黒田263-1 | 072-472-2800 | 072-471-9868 |
| 34 | 島本町 | 社会福祉協議会 | 618-0022 | 三島郡島本町桜井3丁目4番1号 | 075-962-5417 | 075-962-6325 |
| 35 | 豊能町 | 社会福祉協議会 | 563-0103 | 豊能郡豊能町東ときわ台1-2-6　保健福祉センター内 | 072-738-5370 | 072-738-0524 |
| 36 | 能勢町 | 社会福祉協議会 | 563-0341 | 豊能郡能勢町宿野114 | 072-734-0770 | 072-734-2623 |
| 37 | 忠岡町 | 健康福祉部　地域福祉課 | 595-0805 | 泉北郡忠岡町忠岡東1-34-1 | 0725-22-1122  （内線202） | 0725-22-1129 |
| 38 | 熊取町 | 健康福祉部　健康・いきいき高齢課　健康・いきいき高齢グループ | 590-0451 | 泉南郡熊取町野田1丁目1-8　熊取ふれあいセンター１階 | 072-452-6285 | 072-453-7196 |
| 39 | 田尻町 | 子育て・地域福祉課 | 598-0091 | 泉南郡田尻町嘉祥寺883番地1 | 072-466-5013 | 072-466-8841 |
| 40 | 岬町 | しあわせ創造部　福祉課　健康医療係 | 599-0311 | 泉南郡岬町多奈川谷川2424-3 | 072-492-2424 | 072-492-2433 |
| 41 | 太子町 | 健康福祉部　いきいき健康課 | 583-8580 | 南河内郡太子町山田88番地 | 0721-98-5520 | 0721-98-3600 |
| 42 | 河南町 | 社会福祉協議会 | 585-0014 | 南河内郡河南町白木1359-6 | 0721-93-6299 | 0721-93-5299 |
| 43 | 千早赤阪村 | 社会福祉協議会 | 585-0042 | 南河内郡千早赤阪村大字二河原邊8-1 | 0721-72-0294 | 0721-70-2037 |

**６****大阪府献血推進審議会規則**

平成二十四年十一月一日

大阪府規則第二百九号

改正　平成二八年三月三〇日規則第八二号

大阪府献血推進審議会規則を公布する。

大阪府献血推進審議会規則

（趣旨）

第一条　この規則は、大阪府附属機関条例（昭和二十七年大阪府条例第三十九号）第六条の規定に基づき、大阪府献血推進審議会（以下「審議会」という。）の組織、委員及び専門委員（以下「委員等」という。）の報酬及び費用弁償の額その他審議会に関し必要な事項を定めるものとする。

（組織）

第二条　審議会は、委員二十五人以内で組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから、知事が任命する。

一　学識経験のある者

二　医療関係団体の代表者

三　教育機関の代表者

四　放送機関、新聞社、通信社その他の報道機関の代表者

五　関係行政機関の職員

六　前各号に掲げる者のほか、知事が適当と認める者

３　委員（関係行政機関の職員のうちから任命された委員を除く。）の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（平二八規則八二・旧第三条繰上）

（専門委員）

第三条　審議会に、専門の事項を調査審議させるため必要があるときは、専門委員若干人を置くことができる。

２　専門委員は、知事が任命する。

３　専門委員は、当該専門の事項に関する調査審議が終了したときは、解任されるものとする。

（平二八規則八二・旧第四条繰上）

（会長）

第四条　審議会に会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

２　会長は、会務を総理する。

３　会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

（平二八規則八二・旧第五条繰上）

（会議）

第五条　審議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

２　審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

３　審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（平二八規則八二・旧第六条繰上）

（部会）

第六条　審議会に、必要に応じて部会を置くことができる。

２　部会に属する委員等は、会長が指名する。

３　部会に部会長を置き、会長が指名する委員がこれに当たる。

４　部会長は、部会の会務を掌理し、部会における審議の状況及び結果を審議会に報告する。

５　前条の規定にかかわらず、審議会は、その定めるところにより、部会の決議をもって審議会の決議とすることができる。

（平二八規則八二・旧第七条繰上）

（報酬）

第七条　委員等の報酬の額は、日額八千三百円とする。

（平二八規則八二・旧第八条繰上・一部改正）

（費用弁償）

第八条　委員等の費用弁償の額は、職員の旅費に関する条例（昭和四十年大阪府条例第三十七号）による指定職等の職務にある者以外の者の額相当額とする。

（平二八規則八二・旧第九条繰上）

（庶務）

第九条　審議会の庶務は、健康医療部において行う。

（平二八規則八二・旧第十条繰上）

（委任）

第十条　この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

（平二八規則八二・旧第十一条繰上）

附　則

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成二八年規則第八二号）

この規則は、平成二十八年四月一日から施行する。

**７****令和５年度　大阪府献血推進審議会　委員名簿**

（令和６年３月31日現在）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　≪五⼗⾳順、敬称略≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 職　　名 | |
| 伊藤　憲一郎 | （一社）大阪府薬剤師会 | 副会長 |
| 大江　桂子 | 日本赤十字社大阪府支部 | 事務局長 |
| 角田　禮子 | 八尾市献血推進協議会 | 会長 |
| 金倉　　譲 | 一般財団法人　住友病院 | 病院長 |
| 河合　泰博 | （一社）大阪府病院協会 | 理事 |
| 木村　哲人 | 毎日新聞社大阪本社 | 社会部長兼科学環境部長 |
| 栗山　幸子 | 日本放送協会大阪放送局 | 企画部エキスパート |
| 杉原　健士 | 大阪府町村長会 | 監事（忠岡町長） |
| 高屋敷　秀樹 | 堺市市民人権局 | 局長 |
| 武智　虎義 | 赤十字奉仕団大阪府支部委員会 | 委員長 |
| 辻　宏康 | 大阪府市長会 | 会長（和泉市長） |
| 寺澤　一男 | (一社)大阪府歯科医師会 | 常務理事 |
| 中尾　正俊 | (一社)大阪府医師会 | 副会長 |
| 永田　ゆかり | 大阪市地域女性団体協議会 | 副会長 |
| 中原　喜奈 | 大阪府学生献血推進協議会 | 会長 |
| 中山　浩二 | 大阪市保健所 | 保健所長 |
| 西村　美咲 | 情報産業労働組合連合会大阪地区協議会 | 幹事 |
| 野村　勉 | 堺市献血推進協議会 | 会長 |
| 馬場　武彦 | (一社)大阪府私立病院協会 | 副会長 |
| 平山　文也 | 大阪府赤十字血液センター | 所長 |
| 好永　保宣 | 大阪私立学校保健会 | 会長 |

最新の名簿については、[大阪府献血推進審議会の委員名簿／大阪府ホームページ](https://www.pref.osaka.lg.jp/o100030/yakumu/singikai/kenketsusuisinmeibo.html)をご覧ください。

**８****採血基準**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（令和６年３月31日現在）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 採血の種類 | | 200mL全血採血 | 400mL全血採血 | 血漿成分採血 | 血小板成分採血 |
| １回採血量 | | 200mL | 400mL | 600mL以下（循環血液量の12%以内） | |
| 年　　齢 | | 注）  １６歳～６９歳 | 注）  男性 １７歳～６９歳  女性 １８際～６９歳 | 注）  １８歳～６９歳 | 注）  男性 １８歳～６９歳  女性 １８歳～５４歳 |
| 注）６５歳から６９歳までの間については、６０歳から６４歳までの間に採血されたことがある者に限る。 | | | |
| 体　　　重 | | 男性 ４５㎏以上  女性 ４０㎏以上 | 男性 ５０㎏以上  女性 ５０㎏以上 | 男性 ４５㎏以上  女性 ４０㎏以上 | |
| 最 高 血 圧 | | 90mmHg以上180mmHg未満 | | | |
| 最 低 血 圧 | | 50mmHg以上110mmHg未満 | | | |
| 脈　　拍 | | 40回/分以上100回/分以下 | | | |
| 体　　温 | | 37.5℃未満 | | | |
| 血色素量 | | 男性　12.5g／dL以上  女性　12.0g／dL以上 | 男性　13.0g／dL以上  女性　12.5g／dL以上 | 12.0g／dL以上  （赤血球指数が標準域にある  女性は 11.5g／dL以上） | 12.0g／dL以上 |
| 血小板数 | | － | － | － | 15万/μL以上60万/μL以下 |
| 年間総採血量 | | 400mL全血採血と200mL全血採血を合わせて  男性1,200mL以内、女性800mL以内 | | － | － |
| 年間採血回数 | | 男性　６回以内  女性　４回以内 | 男性　３回以内  女性　２回以内 | 血小板成分採血１回を２回分に換算して  血漿成分採血と合計で２４回以内 | |
| 共通事項 | 次の方からは採血できません。   1. 妊娠していると認められる方、又は過去６ヵ月以内に妊娠していたと認められる方 2. 採血により悪化するおそれのある循環系疾患、血液疾患その他の疾患に罹っていると認められる方 3. 有熱者その他健康状態が不良であると認められる方 | | | | |

**献血の間隔**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 **血漿成分献血の体重別献血量の目安**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 今回の採血  次回の採血 | 血漿成分採血 | 血小板成分採血 | 400mL  採血 | 200mL  採血 |  | 体重（kg） | 献血量（mL） | |
| 血漿成分採血 | 男女とも２週間後の同じ曜日から採血できます。 | | 男女とも８週  間後の同じ曜日か  ら採血できます | 男女とも４週間後の同じ曜日から採血できます | 男 | 女 |
| 血小板成分採血 | 40以上45未満 | － | 300 |
| 45以上50未満 | 300～350 | |
| 400mL採血 | 男性は12週間後  女性は16週間後  の同じ曜日から採  血できます | 50以上55未満 | 400 | |
| 55以上60未満 | 400～450 | |
| 200mL採血 | 60以上65未満 | 400～500 | |
| 65以上70未満 | 400～550 | |
| 70以上 | 400～600 | |

※血漿を含まない場合には、１週間後に血小板成分採血が可能になる。ただし、

４週間に４回実施した場合には次回までに４週間以上あけるものとする。

**９****献血の種類と主要血液製剤一覧表**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 献血の種類 | |  | 製剤の種類 | | | | | 主な用途 | 有効期間 | 貯法 |
| 全血献血 | 200mL献血 ①、②、④、⑤へ |  | 輸血用血液製剤 | ①全血製剤 | 人全血液 | | | 赤血球成分製剤の使用が主流のため、  現在はほとんど使用されていない | 採血後21日間 | 2～6℃ |
| 照射人全血液 | | |
| ②赤血球製剤 | 赤血球液 | | | 貧血、手術中の輸血 | 採血後28日間 |
| 照射赤血球液 | | |
| 洗浄赤血球液 | | | 製造後48時間 |
| 照射洗浄赤血球液 | | |
| 解凍赤血球液 | | | 製造後4日間 |
| 400mL献血 ①、②、④、⑤へ | 照射解凍赤血球 | | |
| 合成血液 | | | ＡＢＯ血液型不適合による  新生児溶血性疾患 | 製造後48時間 |
| 照射合成血液 | | |
| ③血小板製剤 | 濃厚血小板 | | | 血小板減少症 | 採血後4日間 | 20～24℃ 要・振とう |
| 照射濃厚血小板 | | |
| 濃厚血小板HLA | | |
| 照射濃厚血小板HLA | | |
| 照射洗浄血小板 | | | 製造後48時間（ただし、採血後  4日間を超えない） |
| 照射洗浄血小板HLA | | |
| ④血漿製剤 | 新鮮凍結血漿（120,240,480） | | | 血液凝固因子の補充 | 採血後1年間 | -20℃以下 |
| 成分献血 | 血小板成分献血 ③、⑤へ | ⑤原料血漿 | |  | 血漿分画製剤 | ⑥血液凝固因子製剤 | 血友病等 | 各製剤の添付文書を参照 | |
| 血漿成分献血 ④、⑤へ | ⑦免疫グロブリン製剤 | 重症感染症の治療、免疫機能の低下 |
| ⑧アルブミン製剤 | 大量出血時のショック状態、やけど |

**10　血液型､生化学検査及び****血球計数検査成績の通知について**

生化学検査について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検査項目 | 単位 | 説　　　　　　　　　　　明 |
| ＡＬＴ  （ＧＰＴ） | ＩＵ／L | 肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝細胞が破壊されると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も強く上昇し、慢性肝炎や脂肪肝（肥満）などでも上昇します。激しい運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。 |
| γ－ＧＴＰ | ＩＵ／L | 肝、胆道、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する疾患は閉塞性黄疸、肝炎、アルコ－ル性肝障害などです。病気がなくても長期飲酒者では上昇することが多く１ヵ月くらい禁酒するとある程度正常化します。 |
| 総蛋白  　　ＴＰ | ｇ／dL | 血清中には80種類以上の蛋白が含まれ、種々の機能を持ち、生命維持に大きな役割を果たしますその総量を総蛋白として測定しています。 |
| アルブミン  　ＡＬＢ | ｇ／dL | 血清蛋白の50％以上を占めるアルブミンは、病気などで栄養が悪くなると減少するため、健康診断のスクリ－ニングとして大きな意味があります。 |
| アルブミン対  グロブリン比  　Ａ／Ｇ |  | 血清蛋白はアルブミン(A) とグロブリン(G) に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にありますが、病気によってはその比率が変化（主として減少）してきます。 |
| コレステロール  　ＣＨＯＬ | ㎎／dL | 血清脂肪の一つで、一般に脂肪の多い食事を続けていると上昇します。  また、肝臓などで作られ、肝、胆道、腎、甲状腺の病気でその値が上下することがあります。  血清コレステロールが多くなると動脈硬化を起こしやすいとされています。 |
| グリコアルブミン  GA | ％ | 糖尿病の検査の一つです。過去約２週間の血糖値が低い状態が続いていると低下し、高い状態が続いていると上昇します。  糖尿病では標準値より上昇します。標準値範囲内でも15.6％以上の場合は注意が必要です。 |

血球計数検査について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 検査項目 | 単位 | 説　　　　　　明 |
| 1.赤血球数  　　（ＲＢＣ） | ×104/μL | 赤血球は血液の主な細胞成分で、酸素を肺から各組織へ運ぶ働きを持っています。 |
| 2.ヘモグロビン濃度 （Ｈｂ） | ｇ/dL | 血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビン（血色素）によるもので、赤血球の働きの中心となっています。 |
| 3.ヘマトクリット値  （Ｈｔ） | ％ | ヘマトクリット値は、一定の血液量に対する赤血球の割合（容積）を％で表したものです。 |
| 4.平均赤血球容積  （ＭＣＶ） | ｆL | 赤血球１個の平均的容積、すなわち赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とヘマトクリット値から算出したものです。 |
| 5.平均赤血球ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ量  　　（ＭＣＨ） | ｐｇ | 赤血球１個に含まれるヘモグロビン量を平均的に表したもので、赤血球数とヘモグロビン量から算出したものです。 |
| 6.平均赤血球ﾍﾓｸﾞﾛﾋﾞﾝ濃度  　　（ＭＣＨＣ） | ％ | 赤血球の一定容積に対するヘモグロビン量の比を％で表したもので、ヘモグロビン量とヘマトクリット値から算出したものです。 |
| 7.白血球数  　　（ＷＢＣ） | ×102/μL | 白血球は細菌などを貪食し、免疫情報を伝達し、さらに免疫能を発現して生体防御にかかわっています。細菌感染症があると一般に白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。 |
| 8.血小板数  　　（ＰＬＴ） | ×104/μL | 血小板は出血を止めるための重要な働きを持ち、この値が極端に減少すると出血を起こしやすくなります。 |

＊検査項目１～３の値は貧血の有無を知る目安となり、貧血の場合、検査項目４～６の値がその種類の判定の目安となります。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 生化学検査（単位）　　　 　　血球計数検査（単位） | | | | | | |
|  | 検査項目 | 標準値 |  | 検査項目 | 標準値 |  |
| ＡＬＴ(GPT)  （IU/L） | 8～49 | ＲＢＣ  (×104/μL) | 男性 418～560  女性 384～504 |
| γ- ＧＴＰ  （IU/L） | 9～68 | Ｈｂ  (g/dL) | 男性 12.7～17.0  女性 11.0～14.8 |
| ＴＰ  (g/dL) | 6.6～8.2 | Ｈｔ  (%) | 男性 38.8～50.0  女性 34.6～44.6 |
| ＡＬＢ  (g/dL) | 4.0～5.1 | ＭＣＶ  (fL) | 83.0～99.5 |
| Ａ／Ｇ | 1.3～2.1 | ＭＣＨ  (pg) | 26.8～33.5 |
| ＣＨＯＬ  (㎎/dL) | 140～259 | ＭＣＨＣ  (%) | 31.7～35.2 |
| GA  （％） | 16.5未満 | WＢＣ  (×102/μL）  02/μL) | 38～89 |
|  | | | | ＰＬＴ  (×104/μL) | 17.0～36.5 |
|  | | | | | | |